

職業実践専門課程の基本情報について

学校名	設置認可年月日	校長名	所在地			
福岡キャリアナー製菓調理専門学校	平成20年9月18日	上川 明	〒812-0032 福岡県福岡市博多区石城町20-9 (電話) 092-262-4488			
設置者名	設立認可年月日	代表者名	所在地			
滋慶文化学園	平成8年3月13日	覚野 博夫	〒812-0032 福岡県福岡市博多区石城町21-2 (電話) 092-263-6747			
分野	認定課程名	認定学科名	専門士	高度専門士		
衛生	衛生専門課程	カフェ総合科(カフェ&バーテンダーコース)	平成22年文部科学省 告示第152号	-		
学科の目的	カフェフードやドリンクなどの製造販売を行う人材を養成します。また、高い技術力、オリジナル商品を作るクリエイティブ力、ビジネス感覚をバランスよく身につけた人材を養成します。					
認定年月日	平成26年3月31日					
修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な 総授業時数又は総単位数	講義	演習	実習	実験
2	年	1860時間	330時間	525時間	1380時間	単位時間
生徒総定員	生徒実員	留学生数(生徒実員の内)	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
80	72人(内3人)	2人	2人	12人	14人	
学期制度	■前期:4月8日~9月15日 ■後期:10月1日~2月13日		成績評価	■成績表: 有 ■成績評価の基準・方法 学期末にテストの成績や出席率などで総合判断とする		
長期休み	■学年始:4月8日 ■夏季:7月24日~8月19日 ■冬季:12月21日~1月13日 ■学年末:2月26日~3月31日		卒業・進級 条件	各年次出席率66.7%以上57単位以上を取得したものは進級、卒業する事ができる。上記に該当しないものは卒業、進級判定会議により最終決定する		
学修支援等	■クラス担任制: 有 ■個別相談・指導等の対応 本人へ継続して連絡すると共に保護者にも連絡をして状況の確認・把握を行い、家庭と学校で連携して対応をする。連絡が取れない状況となれば家庭訪問を行い、来校できる状況であれば日時を指定し保護者と共に学校へ来てもらい三者面談をし、今後の動向について話し合いを行う。		課外活動	■課外活動の種類 学生会(生徒会)活動【学園祭その他イベントの企画運営】地域ボランティア活動 ■サークル活動: 有 ■国家資格・検定/その他・民間検定等 (平成30年度卒業者に係る平成29年5月1日時点の情報)		
就職等の 状況※2	■主な就職先・業界等(平成29年度卒業生) 株式会社グラノ24K、株式会社ササグループ等		主な学修成果 (資格・検定等) ※3	資格・検定名 種 受験者数 合格者数 JESCコミュニケーションスキルアップ 検定 ③ 0人 0人		
	■就職指導内容 年2回の個人面談 就職出陣式の開催 合同企業説明会の開催 インターンシップ参加促進 ■卒業生数 2 人 ■就職希望者数 2 人 ■就職者数 : 2 人 ■就職率 : 100 % ■卒業者に占める就職者の割合 : 100 % ■その他 (平成 30 年度卒業者に係る 令和1年5月1日 時点の情報)			※別列の欄には、各資格・検定について、以下の①~③のいずれかに該当するか記載する。 ①国家資格・検定のうち、修了と同時に取得可能なもの ②国家資格・検定のうち、修了と同時に受験資格を取得するもの ③その他(民間検定等) ■自由記述欄 (例)認定学科の学生・卒業生のコンテスト入賞状況等		
中途退学の 現状	■中途退学者 7 名 平成30年4月1日時点において、在学者72名(平成29年4月1日入学者を含む) 平成31年3月31日時点において、在学者65名(平成31年3月31日卒業者を含む) ■中途退学の主な理由 (例)学校生活への不適合・経済的問題・進路変更等 学校生活への不適合・経済的問題・目的意識低下 ■中退防止・中退者支援のための取組 (例)カウンセリング・再入学・転科の実施等 学生・保護者様とのメール交換・保護者様面談会・SSC案内・個別カウンセリング・マネー教育の実施等		■中途退学率 9.7 %			
経済的支援 制度	■学校独自の奨学金・授業料等減免制度: 有・無 ※有の場合、制度内容を記入 ■専門実践教育訓練給付: 給付対象・非給付対象 ※給付対象の場合、前年度の給付実績者数について任意記載					
第三者による 学校評価	■民間の評価機関等から第三者評価: 有・無 ※有の場合、例えば以下について任意記載 (評価団体、受審年月、評価結果又は評価結果を掲載したホームページURL)					
当該学科の ホームページ URL	<a href="http://www.f-culinary.ac.jp">http://www.f-culinary.ac.jp</a>					

(留意事項)

1. 公表年月日(※1)

最新の公表年月日です。なお、認定課程においては、認定後1か月以内に本様式を公表するとともに、認定の翌年度以降、毎年度7月末を基準日として最新の情報を反映した内容を公表することが求められています。初回認定の場合は、認定を受けた告示日以降の日付を記入し、前回公表年月日は空欄としてください

2. 就職等の状況(※2)

「就職率」及び「卒業者に占める就職者の割合」については、「文部科学省における専修学校卒業生の「就職率」の取扱いについて(通知)(25文科第596号)」に留意し、それぞれ、「大学・短期大学・高等専門学校及び専修学校卒業予定者の就職(内定)状況調査」又は「学校基本調査」における定義に従います。

(1)「大学・短期大学・高等専門学校及び専修学校卒業予定者の就職(内定)状況調査」における「就職率」の定義について

①「就職率」については、就職希望者に占める就職者の割合をいい、調査時点における就職者数を就職希望者で除したものをいいます。

②「就職希望者」とは、卒業年度中に就職活動を行い、大学等卒業後速やかに就職することを希望する者をいい、卒業後の進路として「進学」「自営業」「家事手伝い」「留年」「資格取得」などを希望する者を含みません。

③「就職者」とは、正規の職員(雇用契約期間が1年以上の非正規の職員として就職した者を含む)として最終的に就職した者(企業等から採用通知などが出された者)をいいます。

※「就職(内定)状況調査」における調査対象の抽出のための母集団となる学生等は、卒業年度中に在籍している学生等とします。ただし、卒業の見込みのない者、休学中の者、留学生、聴講生、科目等履修生、研究生及び夜間部、医学科、歯学科、獣医学科、大学院、専攻科、別科の学生は除きます。

(2)「学校基本調査」における「卒業者に占める就職者の割合」の定義について

①「卒業者に占める就職者の割合」とは、全卒業生数のうち就職者総数の占める割合をいいます。

②「就職」とは給料、賃金、報酬その他定期的な収入を得る仕事に就くことをいいます。自家・自営業に就いた者は含めませんが、家事手伝い、臨時的な仕事に就いた者は就職者とはしません(就職したが就職先が不明の者は就職者として扱う)。

(3)上記のほか、「就職者数(関連分野)」は、「学校基本調査」における「関連分野に就職した者」を記載します。また、「その他」の欄は、関連分野へのアルバイト者数や進

3. 主な学修成果(※3)

認定課程において取得目標とする資格・検定等状況について記載するものです。①国家資格・検定のうち、修了と同時に取得可能なもの、②国家資格・検定のうち、修了と同時に受験資格を取得するもの、③その他(民間検定等)の種別区分とともに、名称、受験者数及び合格者数を記載します。自由記述欄には、各認定学科における代表的な学修成果(例えば、認定学科の学生・卒業生のコンテスト入賞状況等)について記載します。

1.「専攻分野に関する企業、団体等(以下「企業等」という。)との連携体制を確保して、授業科目の開設その他の教育課程の編成を行っていること。」関係

(1)教育課程の編成(授業科目の開設や授業内容・方法の改善・工夫等を含む。)における企業等との連携に関する基本方針

企業との連携について、従来、学科の養成目的(学生が卒業時に身につけておくべき能力)実現にむけ、学校の教職員と業界で活躍している兼任教員(非常勤講師)が、講師授業科目の開設や授業内容の改善を図るため、年2回の講師会議を開催しています。  
このたび、新たに設置する教育課程編成委員会においては、非常勤講師以外の業界関係者からの意見も、より詳細に教育内容に反映させることを目的とします。

(2)教育課程編成委員会等の位置付け  
教育課程編成委員会は理事会のもとに設置され、委員会の適切な運営は理事長が担保することになっています。また、学校運営においては教務組織規則において、「委員会での審議を通じて示された企業等の要請その他の情報、意見を十分に生かし、実践的かつ専門的な職業教育を実施するにふさわしい教育課程の編成に努める」ことが明記され、この定めに従い、委員会を運営します。委員会での審議事項は教務会議において競技され次年度のカリキュラムに取り入れていきます。

(3)教育課程編成委員会等の全委員の名簿

平成31年3月31日現在

名前	所属	任期	種別
谷内 雅夫	博多食文化の会 会員 ホテルオークラ福岡総料理長	平成30年4月1日～令和2年3月31日(2年)	①
金子 久幸	有限会社 ベル・エキブ オーナー	平成30年4月1日～令和2年3月31日(2年)	③
勝野 良治	有限会社 寿司の次郎長 店主	平成30年4月1日～令和2年3月31日(2年)	③
内野 浩一郎	うちの珈琲研究所 所長	平成30年4月1日～令和2年3月31日(2年)	③
四丸 太	キャトル オーナーシェフ	平成30年4月1日～令和2年3月31日(2年)	③

※委員の種別の欄には、委員の種別のうち以下の①～③のいずれに該当するか記載すること。

- ①業界全体の動向や地域の産業振興に関する知見を有する業界団体、職能団体、地方公共団体等の役職員(1企業や関係施設の役職員は該当しません。)
- ②学会や学術機関等の有識者
- ③実務に関する知識、技術、技能について知見を有する企業や関係施設の役職員

(4)教育課程編成委員会等の年間開催数及び開催時期

年間開催数2回 開催時期 6月と2～3月

(開催日時)

第1回 平成30年6月14日 14:45～16:45

第2回 平成31年3月11日 15:30～16:30

(5)教育課程の編成への教育課程編成委員会等の意見の活用状況

業界の求める人材と現在の学生の希望が異なってきている。これからの時代はホスピタリティをしっかりと身に付けた学生が必要となるので授業内でもおもてなしをしっかりと身に付けさせていった方がいい。カリキュラムに関しても時代に合わせて年々変えていく必要があるのではとの意見をもらい定期的に見直しをかけております。製菓製パン科においては販売実習の授業内での販売や接客に関してのレベルアップが必要とのことで授業内で製造だけでなく接客販売の授業を取り入れていきます。

2.「企業等と連携して、実習、実技、実験又は演習(以下「実習・演習等」という。)の授業を行っていること。」関係

(1)実習・演習等における企業等との連携に関する基本方針

本校は卒業後の業界に直結した職業人教育を行う学校であり、各業界と連携し、共にスペシャリストを育成することを目的としている。業界研修では、現場の実習で実践力を身につけ評価を行い、就職にもつながっている

(2)実習・演習等における企業等との連携内容

企業プロジェクトでは企業様から直接課題を頂き商品を開発プレゼンテーションを行い商品化を目指したり、販売実習においては実際にお店で出されている商品を製造販売する際にどのように行うのかを指導を受けながら実践しております。またそれぞれの授業で作った商品の評価をその場で受けてその評価を総合したものが成績にも反映されております。

(3)具体的な連携の例※科目数については代表的な5科目について記載。

科目名	科目概要	連携企業等
業界研修	業界現場で、実際の仕事を体験し、自己研鑽を行います。	フランス菓子16区/キャトル/有限会社銀のスプーン / ベルエキブ/有限会社一柳 / その他10社
販売実習Ⅰ	業界の先生から個人店で実際に販売や提供されている商品作りを学ぶことが出来る	ベルエキブ ニコシヨコラティエ
販売実習Ⅱ	業界の先生からホテルや企業で実際に販売や提供されている商品作りを学ぶことが出来る	ホテル日航福岡 グランドハイアット ヒルトン福岡
企業プロジェクト	業界から課題を頂きその趣旨に沿った商品を開発プレゼンテーションを行います	ホテル日航福岡 ヒルトン福岡
コンテストゼミ	業界で活躍する講師の方々から世界大会や全国の大会で入賞するために必要な技術知識気構えを学ぶ授業です	クラブハリエ 森永乳業

3.「企業等と連携して、教員に対し、専攻分野における実務に関する研修を組織的に行っていること。」関係

(1)推薦学科の教員に対する研修・研究(以下「研修等」という。)の基本方針

学園の定める教員研修規程において、教員の授業内容・教育技法の改善並びにクラス運営方法の向上、マネジメント能力を含む指導力の向上を研修の目的と定めています。

また毎年中途退学防止に向けた「学生一人ひとり」見ていく視点を、講師会で企業の方と共有する研修を行っています。新入職者研修とFDマイクロレベル監修は初年度の職員 2年目3年目はカウンセリング研修1次・2次を受講 4年目以降はFDミドルレベル研修 さらにFDマクロレベル研修と段階を置いて計画的に研修を受講することになっております。

(2) 研修等の実績

① 専攻分野における実務に関する研修等

福岡県洋菓子協会やグループ校主催による技術研修を行っている。講師には企業の方が来られ技術や知識のレベルアップを図っている。毎年7月にはグループ校において指導方法の勉強会などの技術者研修会を開催

② 指導力の修得・向上のための研修等

指導力の向上の為に外部機関JESC教育科学研究所主催の研修を受講 ミクロ研修は初年度勤務者4日間 ミドル研修は5年以上の勤務者2日間 マクロは管理職1日の内容期間で受けるようになっており年間を通じて研修計画を立てている。FDマクロ研修 9月 ミクロ研修 4月、10月

(3) 研修等の計画

① 専攻分野における実務に関する研修等

年間を通じて研修計画を立てている。年に2回の洋菓子協会主催の技術講習会受講(4月から10月の期間)滋慶学園グループ校の技術者による年1回(7月)の技術研修会

② 指導力の修得・向上のための研修等

年間を通じて外部機関JESC教育科学研究所と共に研修計画を立てている。FDマイクロ研修年2回4月・10月 FDミドル年1回6月 FDマクロ年1回9月 カウンセリング研修1次・2次 9月受講対象者は3-(1)を参照

4. 「学校教育法施行規則第189条において準用する同規則第67条に定める評価を行い、その結果を公表していること。また、評価を行うに当たっては、当該専修学校の関係者として企業等の役員又は職員を参画させていること。」関係

(1) 学校関係者評価の基本方針

卒業生、保護者代表、近隣関係者、高校関係者ともに、業界関係者により構成される学校関係者評価委員会を組織し、この委員会が、学校教職員が行った自己点検・自己評価の内容を審議・評価することを通し、学校運営の改善に生かすことを方針とします。

(2) 「専修学校における学校評価ガイドライン」の項目との対応

ガイドラインの評価項目	学校が設定する評価項目
(1) 教育理念・目標	教育理念・目的・育成人材像
(2) 学校運営	学校運営
(3) 教育活動	教育活動
(4) 学修成果	教育成果
(5) 学生支援	学生支援
(6) 教育環境	教育環境
(7) 学生の受入れ募集	学生募集と受け入れ
(8) 財務	財務
(9) 法令等の遵守	法令等の遵守
(10) 社会貢献・地域貢献	社会貢献
(11) 国際交流	

※(10)及び(11)については任意記載。

(3) 学校関係者評価結果の活用状況

平成28年度は「人間教育」「実学教育」について重点的に話し合いが行われ、職業観を意識した指導の実践方法として各委員よりアドバイスを頂く。製菓製パン科では授業開始時の挨拶の徹底や清掃などが不十分であるとの意見があった為教務会議にて協議を行い次年度に改善をすることにしていきます。

(4) 学校関係者評価委員会の全委員の名簿

平成31年3月31日現在

名前	所属	任期	種別
谷内 雅夫	博多食文化の会 会員 田テラオークラ福岡総料理長	平成30年4月1日～平成30年3月31日	企業等委員
金子 久幸	有限会社 ベル・エキブ オーナー	平成30年4月1日～平成30年3月31日	企業等委員
勝野 良治	有限会社 寿司の次郎長 店主	平成30年4月1日～平成30年3月31日	企業等委員
内野 浩一郎	うちの珈琲研究所 所長	平成30年4月1日～平成30年3月31日	企業等委員
田中 眞太郎	福岡県立香椎高等学校	平成30年4月1日～平成30年3月31日	高等学校校長
大島 弘枝	福岡市大浜公民館	平成30年4月1日～平成30年3月31日	地域代表
有浦 夕貴	ホテル日航福岡	平成30年4月1日～平成30年3月31日	卒業生代表
石井 深晴	保護者代表	平成30年4月1日～平成30年3月31日	保護者代表

※委員の種別の欄には、学校関係者評価委員として選出された理由となる属性を記載すること。

(例) 企業等委員、PTA、卒業生等

(5) 学校関係者評価結果の公表方法・公表時期

ホームページ・広報誌等の刊行物・その他( ) 毎年9月更新

学校の公式ホームページ内で公表 URL: <http://www.f-culinary.ac.jp>

5. 「企業等との連携及び協力の推進に資するため、企業等に対し、当該専修学校の教育活動その他の学校運営の状況に関する情報を提供していること。」関係

(1) 企業等の学校関係者に対する情報提供の基本方針

学校で毎年定める事業計画の実行方針において提起された目標(カリキュラムのイノベーション、中途退学防止、卒業後の離職防止等)を具体化するため、企業等からのヒアリングを行い、業界の動きを踏まえた実行計画を作成しています。企業等への具体的な情報提供方法としては、業界関係者である兼任教員と教職員の間で講師会議を開催し、授業科目編成や各科目のシラバスなどについて審議を行い、そこで出された意見を実効案へと反映させています。また、学外実習(インターンシップ)においても、原則として実習先に教員が訪問し、学生の実習状況の確認のみならず、学校・学科運営に対する意見を聞き取り、意見を集約するようにしています。

(2) 「専門学校における情報提供等への取組に関するガイドライン」の項目との対応

ガイドラインの項目	学校が設定する項目
(1) 学校の概要、目標及び計画	校長名、所在地、連絡先、学校の沿革、建学の理念、学校安全関連、保健対策

(2)各学科等の教育	受入方針、定員、在校生数、卒業生数、教科課程、学年暦、シラバス、卒業・進級判断規定、卒業と同時に取得する称号、検定資格など、卒業生数、卒業後の進路(主な就職先)
(3)教職員	教職員数、学校組織図、教員の実績
(4)キャリア教育・実践的職業教育	キャリア教育への取り組み、就職支援の取り組み
(5)様々な教育活動・教育環境	施設紹介、海外実学研修
(6)学生の生活支援	中途退学防止の取り組み(中途退学状況、進路変更委員会)、学生健康管理(慶生会紹介)、カウンセリング研修
(7)学生納付金・修学支援	学費一覧、活用できる奨学金、教育ローン案内など
(8)学校の財務	学校財務
(9)学校評価	学校関係者評価委員会
(10)国際連携の状況	留学生支援、留学生受け入れ状況、海外との交流
(11)その他	

※(10)及び(11)については任意記載。

(3)情報提供方法  
 学校の公式ホームページ内で公表 URL:<http://www.f-culinary.ac.jp>

## 授業科目等の概要

(衛生専門課程カフェ総合学科) 平成30年度															
分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業 時 数	単 位 数	授業方法			場所		教員		企業等との連携
必 修	選 択 必 修	自 由 選 択						講 義	演 習	実 験・ 実 習・ 実 技	校 内	校 外	専 任	兼 任	
○			ホスピタリティ就職講座	接客マナー等を学び、おもてなしの心を身につけます。また、就職活動に必要なスキル、コミュニケーション力を身につけます。	1後2前	60	4	○			○			○	
○			ホームルーム	イベントに向けての話し合いなど、クラス内のコミュニケーション授業です。	1・2通	120	8	○			○		○		
○			海外実学研修	国際性を身につけるための実践教育です。	1後	60	4		○			○	○		
○			進級制作	1年間の集大成となる作品制作、ショップ出店、ディスプレイ展示などを行います。	1後	30	2		○		○		○		
○			卒業制作	2年間の集大成となる作品制作、ショップ出店、ディスプレイ展示などを行います。	2後	30	2		○		○		○		
○			ディスプレイ	店内のインテリア、ディスプレイなどのノウハウと技術を身につけます。	1通	60	4		○		○			○	
○			接客サービス実習	接客サービスをトータル的に基礎から身に付けます。	2前	30	2			○	○			○	
○			企業プロジェクト	企業様からメニュー開発の課題をいただき、一人ひとりが独自の商品を作り上げます。	1後2後	120	8			○	○				○
○			業界研修	業界現場で実際の仕事を体験し自己研鑽を行います。	随時	15	1		○			○			○
○			調理・製菓理論・衛生学	パティシエの原材料知識や食品衛生の基本、食品取り扱いに関する知識、食材の安全な保管などの知識を学びます。	1通	60	4	○			○			○	
○			食品学・栄養学	様々な料理の歴史や文化、食品に関する成分や特性を学び、豊かな食生活を築くための基本的な知識を習得します。	2後	30	2	○			○			○	

○		調理基礎	調理技術の基礎技術を通して、衛生面、素材の知識が身につくように学びます。	1通	120	8				○	○	○		
○		製菓実習	製菓技術の基礎技術を通して、衛生面、素材の知識が身につくように学びます。	1通	120	8				○	○	○		
○		カフェ販売実習1	お店で出す商品の企画から仕入れ、ディスプレイ、収支までイベントを通じて実践的に学びます。	2通	120	8				○	○	○	○	
○		カフェ販売実習2	お店で出す商品の企画から仕入れ、ディスプレイ、収支までイベントを通じて実践的に学びます。	2通	120	8				○	○	○	○	
○		コーヒー実習	技術の基礎技術を通して、衛生面、素材の知識が身につくように学びます。	1通	60	4				○	○	○		
○		バリスタ実習1	製菓技術の基礎技術を通して、衛生面、素材の知識が身につくように学びます。	2通	120	8				○	○	○		
○		バリスタ実習2シアトル	製菓技術の基礎技術を通して、衛生面、素材の知識が身につくように学びます。	2通	120	8				○	○	○		
○		バリスタ実習2イタリア	製菓技術の基礎技術を通して、衛生面、素材の知識が身につくように学びます。	2通	120	8				○	○	○		
	○	ビバレッジ実習	コーヒー、ソフトドリンク、アレンジドリンク、紅茶等を学びます。	1・2通	30	2				○	○	○		
	○	アルコール実習	アルコールドリンクの知識や技術等を学びます。	1・2通	30	2				○	○	○		
	○	コンピュータ演習	コンピュータの基本的な使い方を学びます。	1・2通	30	2				○	○		○	
	○	コーヒー総合実習	1年生で学んだコーヒーの知識をより深め、広げて行きます。	2後	30	2				○	○	○		
	○	ベーシックデザイン	デッサンの基礎と立体構成を考えるためのデザイン力を身につけます。	1前 2通	30	2				○	○		○	
	○	バリスタ実習3	フランス語の基礎を学びます。	1前	30	2				○			○	
	○	英会話	海外実学研修で外国人とコミュニケーションを図るために必要な英語を学びます。	1通	30	2				○				○

		○	フード カラーコー ディネート	テーブル配置を考え、色彩心理の基本、効果的な色の使い方を身につけます。	2後	30	2		○	○	○			
		○	ショップマネ ジメント	経営に必要なマネジメント、計数管理のノウハウを身につけます。	2通	30	2	○		○				○
		○	コンテストゼ ミ	コンテストに必要な高度な技術をマスターします。	1後 2通	180	12			○	○		○	
		○	ビバレッジ実 習	コーヒー、ソフトドリンク、アレンジドリンク、紅茶等を学びます。	1・ 2通	30	2			○	○		○	
		○	特別講義&見 学	業界で活躍中のプロの方々から豊富な知識・情報を頂く特別授業や各種施設の見学を行います。	随時	60	4			○	○			○
		○	調理基礎	製菓技術の基礎技術を通して、衛生面、素材の知識が身に付くように学びます。	2前	30	2			○	○		○	
		○	製菓基礎	製菓技術の基礎技術を通して、衛生面、素材の知識が身に付くように学びます。	2前	30	2			○	○		○	
		○	製パン実習	実習における基礎的な作業、技術を習得します。	2前	60	4			○	○		○	
		○	フードコー ディネート	調理・栄養計算・テーブルコーディネートなど、食を基軸とするあらゆる分野を総合的な視点でコーディネートする力を身につけます	2後	30	2			○	○	○	○	
		○	コンピュータ 演習	コンピュータの基本的な使い方を学びます。	1・ 2後	30	2			○	○			○
		○	PCデザイン	コンピュータの基本的な使い方を学びます。	1・ 2後	30	2			○	○			○
		○	テーブル カラーコー ディネート	テーブル配置を考え、色彩心理の基本、効果的な色の使い方を身につけます。	1後	30	2			○	○			○
合計				37科目	1860単位時間(124単位)									

卒業要件及び履修方法

授業期間等

1学年の学期区分	前期・後期
1学期の授業期間	15週

(留意事項)

- 一の授業科目について、講義、演習、実験、実習又は実技のうち二以上の方法の併用により行う場合については、主たる方法について○を付し、その他の方法について△を付すこと。
- 企業等との連携については、実施要項の3(3)の要件に該当する授業科目について○を付すこと。

職業実践専門課程の基本情報について

学校名	設置認可年月日	校長名	所在地																			
福岡キャリアナー製菓調理専門学校	平成20年9月18日	上川 明	〒812-0032 福岡県福岡市博多区石城町20-9 (電話) 092-262-4488																			
設置者名	設立認可年月日	代表者名	所在地																			
滋慶文化学園	平成8年3月13日	覚野 博夫	〒812-0032 福岡県福岡市博多区石城町21-2 (電話) 092-263-6747																			
分野	認定課程名	認定学科名	専門士	高度専門士																		
衛生	衛生専門課程	カフェ総合科(カフェオーナーコース)	平成22年文部科学省 告示第152号	-																		
学科の目的	カフェフードやドリンクなどの製造販売を行う人材を養成します。また、高い技術力、オリジナル商品を作るクリエイティブ力、ビジネス感覚をバランスよく身につけた人材を養成します。																					
認定年月日	平成26年3月31日																					
修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な 総授業時数又は総単位数	講義	演習	実習	実験																
2年	昼間	1860時間	330時間	525時間	1380時間	単位時間																
生徒総定員	生徒実員	留学生数(生徒実員の内)	専任教員数	兼任教員数	総教員数																	
80	72人(内27人)	2人	2人	12人	14人																	
学期制度	■前期:4月8日～9月15日 ■後期:10月1日～2月13日		成績評価	■成績表: 有 ■成績評価の基準・方法 学期末にテストの成績や出席率などで総合判断とする																		
長期休み	■学年始:4月8日 ■夏季:7月24日～8月19日 ■冬季:12月21日～1月13日 ■学年末:2月26日～3月31日		卒業・進級条件	各年次出席率66.7%以上57単位以上を取得したものは進級、卒業する事ができる。上記に該当しないものは卒業、進級判定会議により最終決定する																		
学修支援等	■クラス担任制: 有 ■個別相談・指導等の対応 本人へ継続して連絡すると共に保護者にも連絡をして状況の確認・把握を行い、家庭と学校で連携して対応をする。連絡が取れない状況となれば家庭訪問を行い、来校できる状況であれば日時を指定し保護者と共に学校へ来てもらい三者面談をし、今後の動向について話し合いを行う。		課外活動	■課外活動の種類 校友会(生徒会)活動【学園祭その他イベントの企画運営】地域ボランティア活動 ■サークル活動: 有																		
就職等の状況※2	■主な就職先・業界等(平成29年度卒業生) 株式会社オペレーションファクトリー、株式会社フォルトゥーナ等 ■就職指導内容 年2回の個人面談 就職出陣式の開催 合同企業説明会の開催 インターンシップ参加促進 ■卒業生数: 8人 ■就職希望者数: 8人 ■就職者数: 8人 ■就職率: 100% ■卒業生に占める就職者の割合: 100% ■その他 (平成30年度卒業生に関する 令和1年5月1日時点の情報)		主な学修成果(資格・検定等)※3	■国家資格・検定/その他・民間検定等 (平成30年度卒業生に関する平成29年5月1日時点の情報) <table border="1"> <tr> <th>資格・検定名</th> <th>種</th> <th>受験者数</th> <th>合格者数</th> </tr> <tr> <td>JESCコミュニケーションスキルアップ検定</td> <td>③</td> <td>18人</td> <td>18人</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> ※3 各資格・検定については、以下の①～③のいずれかに該当するか記載する。 ①国家資格・検定のうち、修了と同時に取得可能なもの ②国家資格・検定のうち、修了と同時に受験資格を取得するもの ③その他(民間検定等) ■自由記述欄 (例)認定学科の学生・卒業生のコンテスト入賞状況等			資格・検定名	種	受験者数	合格者数	JESCコミュニケーションスキルアップ検定	③	18人	18人								
資格・検定名	種	受験者数	合格者数																			
JESCコミュニケーションスキルアップ検定	③	18人	18人																			
中途退学の現状	■中途退学者 7名 平成30年4月1日時点において、在学者72名(平成29年4月1日入学者を含む) 平成31年3月31日時点において、在学者65名(平成31年3月31日卒業生を含む) ■中途退学の原因 (例)学校生活への不適合・経済的問題・進路変更等 学校生活への不適合・経済的問題・目的意識低下 ■中退防止・中退者支援のための取組 (例)カウンセリング・再入学・転科の実施等 学生・保護者様とのメール交換・保護者様面談会・SSC案内・個別カウンセリング・マネー教育の実施等		■中途退学率 9.7%																			
経済的支援制度	■学校独自の奨学金・授業料等減免制度: 有・無 ※有の場合、制度内容を記入 ■専門実践教育訓練給付: 給付対象・非給付対象 ※給付対象の場合、前年度の給付実績者数について任意記載																					
第三者による学校評価	■民間の評価機関等から第三者評価: 有・無 ※有の場合、例えば以下について任意記載 (評価団体、受審年月、評価結果又は評価結果を掲載したホームページURL)																					
当該学科のホームページURL	<a href="http://www.f-culinary.ac.jp">http://www.f-culinary.ac.jp</a>																					

(留意事項)

1. 公表年月日(※1)

最新の公表年月日です。なお、認定課程においては、認定後1か月以内に本様式を公表するとともに、認定の翌年度以降、毎年度7月末を基準日として最新の情報を反映した内容を公表することが求められています。初回認定の場合は、認定を受けた告示日以降の日付を記入し、前回公表年月日は空欄としてください

2. 就職等の状況(※2)

「就職率」及び「卒業生に占める就職者の割合」については、「文部科学省における専修学校卒業生の「就職率」の取扱いについて(通知)(25文科第596号)」に留意し、それぞれ、「大学・短期大学・高等専門学校及び専修学校卒業予定者の就職(内定)状況調査」又は「学校基本調査」における定義に従います。

(1)「大学・短期大学・高等専門学校及び専修学校卒業予定者の就職(内定)状況調査」における「就職率」の定義について

①「就職率」については、就職希望者に占める就職者の割合をいい、調査時点における就職者数を就職希望者で除したものをいいます。

②「就職希望者」とは、卒業年度中に就職活動を行い、大学等卒業後速やかに就職することを希望する者をいい、卒業後の進路として「進学」「自営業」「家事手伝い」「留年」「資格取得」などを希望する者を含みません。

③「就職者」とは、正規の職員(雇用契約期間が1年以上の非正規の職員として就職した者を含む)として最終的に就職した者(企業等から採用通知などが出された者)をいいます。

※「就職(内定)状況調査」における調査対象の抽出のための母集団となる学生等は、卒業年次に在籍している学生等とします。ただし、卒業の見込みのない者、休学中の者、留学生、聴講生、科目等履修生、研究生及び夜間部、医学科、歯学科、獣医学科、大学院、専攻科、別科の学生は除きます。

(2)「学校基本調査」における「卒業生に占める就職者の割合」の定義について

①「卒業生に占める就職者の割合」とは、全卒業生数のうち就職者総数の占める割合をいいます。

②「就職」とは給料、賃金、報酬その他経常的な収入を得る仕事に就くことをいいます。自家・自営業に就いた者は含めるが、家事手伝い、臨時的な仕事に就いた者は就職者とはしません(就職したが就職先が不明の者は就職者として扱う)。

(3)上記のほか、「就職者数(関連分野)」は、「学校基本調査」における「関連分野に就職した者」を記載します。また、「その他」の欄は、関連分野へのアルバイト者数や進

3. 主な学修成果(※3)

認定課程において取得目標とする資格・検定等状況について記載するものです。①国家資格・検定のうち、修了と同時に取得可能なもの、②国家資格・検定のうち、修了と同時に受験資格を取得するもの、③その他(民間検定等)の種類区分とともに、名称、受験者数及び合格者数を記載します。自由記述欄には、各認定学科における代表的な学修成果(例えば、認定学科の学生・卒業生のコンテスト入賞状況等)について記載します。



1.「専攻分野に関する企業、団体等(以下「企業等」という。)との連携体制を確保して、授業科目の開設その他の教育課程の編成を行っていること。」関係

(1)教育課程の編成(授業科目の開設や授業内容・方法の改善・工夫等を含む。)における企業等との連携に関する基本方針

企業との連携について、従来、学科の養成目的(学生が卒業時に身につけておくべき能力)実現にむけ、学校の教職員と業界で活躍している兼任教員(非常勤講師)が、講師授業科目の開設や授業内容の改善を図るため、年2回の講師会議を開催しています。

このたび、新たに設置する教育課程編成委員会においては、非常勤講師以外の業界関係者からの意見も、より詳細に教育内容に反映させることを目的とします。

(2)教育課程編成委員会等の位置付け

教育課程編成委員会は理事会のもとに設置され、委員会の適切な運営は理事長が担保することになっています。また、学校運営においては教務組織規則において、「委員会での審議を通じて示された企業等の要請その他の情報、意見を十分に生かし、実践的かつ専門的な職業教育を実施するにふさわしい教育課程の編成に努める」ことが明記され、このために従い、委員会を運営します。委員会での審議事項は教務会議において競技され次年度のカリキュラムに取り入れていきます。

(3)教育課程編成委員会等の全委員の名簿

平成31年3月31日現在

名前	所属	任期	種別
谷内 雅夫	博多食文化の会 会員 ホテルオークラ福岡総料理長	平成30年4月1日～令和2年3月31日(2年)	①
金子 久幸	有限会社 ベル・エキブ オーナー	平成30年4月1日～令和2年3月31日(2年)	③
勝野 良治	有限会社 寿司の次郎長 店主	平成30年4月1日～令和2年3月31日(2年)	③
内野 浩一郎	うちの珈琲研究所 所長	平成30年4月1日～令和2年3月31日(2年)	③
四丸 太	キャトル オーナーシェフ	平成30年4月1日～令和2年3月31日(2年)	③

※委員の種別の欄には、委員の種別のうち以下の①～③のいずれに該当するか記載すること。

- ①業界全体の動向や地域の産業振興に関する知見を有する業界団体、職能団体、地方公共団体等の役職員(1企業や関係施設の役職員は該当しません。)
- ②学会や学術機関等の有識者
- ③実務に関する知識、技術、技能について知見を有する企業や関係施設の役職員

(4)教育課程編成委員会等の年間開催数及び開催時期

年間開催数2回 開催時期 6月と2～3月

(開催日時)

第1回 平成30年6月14日 14:45～16:45

第2回 平成31年3月11日 15:30～16:30

(5)教育課程の編成への教育課程編成委員会等の意見の活用状況

業界の求める人材と現在の学生の希望が異なってきている。これからの時代はホスピタリティをしっかりと身に付けた学生が必要となるので授業内でもおもてなしをしっかりと身に付けさせていった方がいい。カリキュラムに関しても時代に合わせて年々変えていく必要があるのではとの意見をもらい定期的に見直しをかけております。製菓製パン科においては販売実習の授業内での販売や接客に関してのレベルアップが必要とのことで授業内で製造だけでなく接客販売の授業を取り入れていきます。

2.「企業等と連携して、実習、実技、実験又は演習(以下「実習・演習等」という。)の授業を行っていること。」関係

(1)実習・演習等における企業等との連携に関する基本方針

本校は卒業後の業界に直結した職業人教育を行う学校であり、各業界と連携し、共にスペシャリストを育成することを目的としている。業界研修では、現場の実習で実践力を身につけ評価を行い、就職にもつながっている

(2)実習・演習等における企業等との連携内容

企業プロジェクトでは企業様から直接課題を頂き商品を開発プレゼンテーションを行い商品化を目指したり、販売実習においては実際にお店で出されている商品を製造販売する際にどのように行うのかを指導を受けながら実践しております。またそれぞれの授業で作った商品の評価をその場で受けてその評価を総合したものが成績にも反映されております。

(3)具体的な連携の例※科目数については代表的な5科目について記載。

科目名	科目概要	連携企業等
業界研修	業界現場で、実際の仕事を体験し、自己研鑽を行います。	フランス菓子16区/キャトル/有限会社銀のスプーン / ベルエキブ/有限会社一柳 / その他10社
販売実習Ⅰ	業界の先生から個人店で実際に販売や提供されている商品作りを学ぶことが出来る	ベルエキブ ニコシヨコラティエ
販売実習Ⅱ	業界の先生からホテルや企業で実際に販売や提供されている商品作りを学ぶことが出来る	ホテル日航福岡 グランドハイアット ヒルトン福岡
企業プロジェクト	業界から課題を頂きその趣旨に沿った商品を開発プレゼンテーションを行います	ホテル日航福岡 ヒルトン福岡
コンテストゼミ	業界で活躍する講師の方々から世界大会や全国の大会で入賞するために必要な技術知識気構えを学ぶ授業です	クラブハリエ 森永乳業

3.「企業等と連携して、教員に対し、専攻分野における実務に関する研修を組織的に行っていること。」関係

(1)推薦学科の教員に対する研修・研究(以下「研修等」という。)の基本方針

学園の定める教員研修規程において、教員の授業内容・教育技法の改善並びにクラス運営方法の向上、マネジメント能力を含む指導力の向上を研修の目的と定めています。

また毎年中途退学防止に向けた「学生一人ひとり」見ていく視点を、講師会で企業の方と共有する研修を行っています。新入職者研修とFDマイクロレベル監修は初年度の職員 2年目3年目はカウンセリング研修1次・2次を受講 4年目以降はFDミドルレベル研修 さらにFDマクロレベル研修と段階を置いて計画的に研修を受講することになっております。

(2) 研修等の実績

① 専攻分野における実務に関する研修等

福岡県洋菓子協会やグループ校主催による技術研修を行っている。講師には企業の方が来られ技術や知識のレベルアップを図っている。毎年7月にはグループ校において指導方法の勉強会などの技術者研修会を開催

② 指導力の修得・向上のための研修等

指導力の向上の為に外部機関JESC教育科学研究所主催の研修を受講 ミクロ研修は初年度勤務者4日間 ミドル研修は5年以上の勤務者2日間 マクロは管理職1日の内容期間で受けるようになっており年間を通じて研修計画を立てている。FDマクロ研修 9月 ミクロ研修 4月、10月

(3) 研修等の計画

① 専攻分野における実務に関する研修等

年間を通じて研修計画を立てている。年に2回の洋菓子協会主催の技術講習会受講(4月から10月の期間)滋慶学園グループ校の技術者による年1回(7月)の技術研修会

② 指導力の修得・向上のための研修等

年間を通じて外部機関JESC教育科学研究所と共に研修計画を立てている。FDマイクロ研修年2回4月・10月 FDミドル年1回6月 FDマクロ年1回9月 カウンセリング研修1次・2次 9月受講対象者は3-(1)を参照

4. 「学校教育法施行規則第189条において準用する同規則第67条に定める評価を行い、その結果を公表していること。また、評価を行うに当たっては、当該専修学校の関係者として企業等の役員又は職員を参画させていること。」関係

(1) 学校関係者評価の基本方針

卒業生、保護者代表、近隣関係者、高校関係者ともに、業界関係者により構成される学校関係者評価委員会を組織し、この委員会が、学校教職員が行った自己点検・自己評価の内容を審議・評価することを通し、学校運営の改善に生かすことを方針とします。

(2) 「専修学校における学校評価ガイドライン」の項目との対応

ガイドラインの評価項目	学校が設定する評価項目
(1) 教育理念・目標	教育理念・目的・育成人材像
(2) 学校運営	学校運営
(3) 教育活動	教育活動
(4) 学修成果	教育成果
(5) 学生支援	学生支援
(6) 教育環境	教育環境
(7) 学生の受入れ募集	学生募集と受け入れ
(8) 財務	財務
(9) 法令等の遵守	法令等の遵守
(10) 社会貢献・地域貢献	社会貢献
(11) 国際交流	

※(10)及び(11)については任意記載。

(3) 学校関係者評価結果の活用状況

平成28年度は「人間教育」「実学教育」について重点的に話し合が行われ、職業観を意識した指導の実践方法として各委員よりアドバイスを頂く。製菓製パン科では授業開始時の挨拶の徹底や清掃などが不十分であるとの意見があった為教務会議にて協議を行い次年度に改善をすることにしていきます。

(4) 学校関係者評価委員会の全委員の名簿

平成31年3月31日現在

名前	所属	任期	種別
谷内 雅夫	博多食文化の会 会員 田テロオークラ福岡総料理長	平成30年4月1日～平成30年3月31日	企業等委員
金子 久幸	有限会社 ベル・エキブ オーナー	平成30年4月1日～平成30年3月31日	企業等委員
勝野 良治	有限会社 寿司の次郎長 店主	平成30年4月1日～平成30年3月31日	企業等委員
内野 浩一郎	うちの珈琲研究所 所長	平成30年4月1日～平成30年3月31日	企業等委員
田中 眞太郎	福岡県立香椎高等学校	平成30年4月1日～平成30年3月31日	高等学校校長
大島 弘枝	福岡市大浜公民館	平成30年4月1日～平成30年3月31日	地域代表
有浦 夕貴	ホテル日航福岡	平成30年4月1日～平成30年3月31日	卒業生代表
石井 深晴	保護者代表	平成30年4月1日～平成30年3月31日	保護者代表

※委員の種別の欄には、学校関係者評価委員として選出された理由となる属性を記載すること。

(例) 企業等委員、PTA、卒業生等

(5) 学校関係者評価結果の公表方法・公表時期

ホームページ・広報誌等の刊行物・その他( ) 毎年9月更新

学校の公式ホームページ内で公表 URL: <http://www.f-culinary.ac.jp>

5. 「企業等との連携及び協力の推進に資するため、企業等に対し、当該専修学校の教育活動その他の学校運営の状況に関する情報を提供していること。」関係

(1) 企業等の学校関係者に対する情報提供の基本方針

学校で毎年定める事業計画の実行方針において提起された目標(カリキュラムのイノベーション、中途退学防止、卒業後の離職防止等)を具体化するため、企業等からのヒアリングを行い、業界の動きを踏まえた実行計画を作成しています。企業等への具体的な情報提供方法としては、業界関係者である兼任教員と教職員の間で講師会議を開催し、授業科目編成や各科目のシラバスなどについて審議を行い、そこで出された意見を実効案へと反映させています。また、学外実習(インターンシップ)においても、原則として実習先に教員が訪問し、学生の実習状況の確認のみならず、学校・学科運営に対する意見を聞き取り、意見を集約するようにしています。

(2) 「専門学校における情報提供等への取組に関するガイドライン」の項目との対応

ガイドラインの項目	学校が設定する項目
(1) 学校の概要、目標及び計画	校長名、所在地、連絡先、学校の沿革、建学の理念、学校安全関連、保健対策

(2)各学科等の教育	受入方針、定員、在校生数、卒業生数、教科課程、学年暦、シラバス、卒業・進級判断規定、卒業と同時に取得する称号、検定資格など、卒業生数、卒業後の進路(主な就職先)
(3)教職員	教職員数、学校組織図、教員の実績
(4)キャリア教育・実践的職業教育	キャリア教育への取り組み、就職支援の取り組み
(5)様々な教育活動・教育環境	施設紹介、海外実学研修
(6)学生の生活支援	中途退学防止の取り組み(中途退学状況、進路変更委員会)、学生健康管理(慶生会紹介)、カウンセリング研修
(7)学生納付金・修学支援	学費一覧、活用できる奨学金、教育ローン案内など
(8)学校の財務	学校財務
(9)学校評価	学校関係者評価委員会
(10)国際連携の状況	留学生支援、留学生受け入れ状況、海外との交流
(11)その他	

※(10)及び(11)については任意記載。

(3)情報提供方法  
 学校の公式ホームページ内で公表 URL:<http://www.f-culinary.ac.jp>

## 授業科目等の概要

(衛生専門課程カフェ総合学科) 平成30年度															
分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業 時 数	単 位 数	授業方法			場所		教員		企業等との連携
必 修	選 択 必 修	自 由 選 択						講 義	演 習	実 験 ・ 実 習 ・ 実 技	校 内	校 外	専 任	兼 任	
○			ホスピタリティ就職講座	接客マナー等を学び、おもてなしの心を身につけます。また、就職活動に必要なスキル、コミュニケーション力を身につけます。	1後2前	60	4	○			○			○	
○			ホームルーム	イベントに向けての話し合いなど、クラス内のコミュニケーション授業です。	1・2通	120	8	○			○		○		
○			海外実学研修	国際性を身につけるための実践教育です。	1後	60	4		○			○	○		
○			進級制作	1年間の集大成となる作品制作、ショップ出店、ディスプレイ展示などを行います。	1後	30	2		○		○		○		
○			卒業制作	2年間の集大成となる作品制作、ショップ出店、ディスプレイ展示などを行います。	2後	30	2		○		○		○		
○			ディスプレイ	店内のインテリア、ディスプレイなどのノウハウと技術を身につけます。	1通	60	4		○		○			○	
○			接客サービス実習	接客サービスをトータル的に基礎から身に付けます。	2前	30	2			○	○			○	
○			販売実習	お店で出す商品の企画から仕入れ、ディスプレイ、収支までイベントを通じて実践的に学びます。	1・2前	120	8			○	○			○	○
○			企業プロジェクト	企業様からメニュー開発の課題をいただき、一人ひとりが独自の商品を作り上げます。	1後2後	120	8			○	○				○
○			業界研修	業界現場で実際の仕事を体験し自己研鑽を行います。	随時	15	1		○			○			○
○			製菓・調理理論・衛生学	パティシエの原材料知識や食品衛生の基本、食品取り扱いに関する知識、食材の安全な保管などの知識を学びます。	1通	60	4	○			○			○	

○		食品学・栄養学	様々な料理の歴史や文化、食品に関する成分や特性を学び、豊かな食生活を築くための基本的な知識を習得します。	2後	30	2	○			○			○
○		製菓実習	製菓技術の基礎技術を通して、衛生面、素材の知識が身につくように学びます。	1通	120	8				○	○		○
○		カフェ販売実習1	お店で出す商品の企画から仕入れ、ディスプレイ、収支までイベントを通じて実践的に学びます。	2通	120	8				○	○		○
○		カフェ販売実習12	お店で出す商品の企画から仕入れ、ディスプレイ、収支までイベントを通じて実践的に学びます。	2通	120	8				○	○		○
○		カフェフード	フードの基本技術から盛り付けなどの演出技術までも習得し	2通	180	12				○	○		○
○		コーヒー実習	技術の基礎技術を通して、衛生面、素材の知識が身につくように学びます。	1通	60	4				○	○		○
○		バリスタ実習2v	製菓技術の基礎技術を通して、衛生面、素材の知識が身につくように学びます。	2通	120	8				○	○		○
	○	ビバレッジ実習	コーヒー、ソフトドリンク、アレンジドリンク、紅茶等を学びます。	1・2通	30	2				○	○		○
	○	アルコール実習	アルコールドリンクの知識や技術等を学びます。	1・2通	30	2				○	○		○
	○	コンピュータ演習	コンピュータの基本的な使い方を学びます。	1・2通	30	2				○	○		○
	○	ベーシックデザイン	デッサンの基礎と立体構成を考えるためのデザイン力を身につけます。	1前2通	30	2				○	○		○
○		バリスタ実習3	フランス語の基礎を学びます。	1前	30	2	○			○			○
○		英会話	海外実学研修で外国人とコミュニケーションを図るために必要な英語を学びます。	1通	30	2	○			○			○
	○	フードカラーコーディネート	テーブル配置を考え、色彩心理の基本、効果的な色の使い方を身につけます。	2後	30	2				○	○		○
	○	ショップマネジメント	経営に必要なマネジメント、計数管理のノウハウを身につけます。	2通	30	2	○			○			○

		○	コンテストゼ ミ	コンテストに必要な高度な技術をマスター します。	1 後 2 通	180	12				○	○		○	○
		○	ビバレッジ実 習	コーヒー、ソフトドリンク、アレンジドリ ンク、紅茶等を学びます。	1・ 2 通	30	2				○	○		○	
		○	製パン実習	実習における基礎的な作業、技術を習得し ます。	2 前	60	4				○	○		○	
		○	調理実習	調理全般に必要な基本技術、基礎知識力を 習得します。	1前 2 通	60	4				○	○		○	
		○	コンピュータ 演習	コンピュータの基本的な使い方を学びま す。	1・ 2 後	30	2				○	○			○
		○	PCデザイン	コンピュータの基本的な使い方を学びま す。	1・ 2 後	30	2				○	○			○
合計			31科目		1860単位時間(124単位)										

卒業要件及び履修方法		授業期間等	
		1 学年の学期区分	前期・後期
		1 学期の授業期間	15週

(留意事項)

- 1 一の授業科目について、講義、演習、実験、実習又は実技のうち二以上の方法の併用により行う場合については、主たる方法について○を付し、その他の方法について△を付すこと。
- 2 企業等との連携については、実施要項の3(3)の要件に該当する授業科目について○を付すこと。

職業実践専門課程として認定する専修学校の専門課程の推薦について

文 部 科 学 大 臣 殿

令和 元年 8月31日

下記の専修学校の専門課程を職業実践専門課程として認定する課程として推薦します。

記

学校名	設置認可年月日	校長名	所在地																											
福岡キャリアリー製菓調理専門学校	平成20年9月18日	上川 明	〒812-0032 福岡県福岡市博多石城町20-9 (電話) 092-262-4488																											
設置者名	設立認可年月日	代表者名	所在地																											
滋慶文化学園	平成8年3月13日	覚野 博夫	〒812-0032 福岡県福岡市博多区石城町21-2 (電話) 092-263-6747																											
分野	認定課程名	認定学科名	専門士	高度専門士																										
衛生	衛生専門課程	カフェ総合科(カフェパティシエコース)	平成22年文部科学省 告示第152号	—																										
学科の目的	カフェフードやドリンクなどの製造販売を行う人材を養成します。また、高い技術力、オリジナル商品を作るクリエイティブ力、ビジネス感覚をバランスよく身につけた人材を養成します。																													
修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な 総授業時数又は総単位数	講義	演習	実習	実験 実技																								
2年	昼間	1860時間	330時間	525時間	1380時間																									
生徒総定員	生徒実員	留学生数(生徒実員の内数)	専任教員数	兼任教員数	総教員数																									
80	72人(内10人)	2人	2人	12人	14人																									
学期制度	■前期:4月8日~9月15日 ■後期:10月1日~2月13日		成績評価	■成績表: 有 ■成績評価の基準・方法 学期末にテストの成績や出席率などで総合判断とす																										
長期休み	■学年始:4月8日 ■夏季:7月24日~8月19日 ■冬季:12月21日~1月13日 ■学年末:2月26日~3月31日		卒業・進級 条件	各年次出席率66.7%以上57単位以上を取得したものは 進級・卒業する事が出来る。上記に該当しないものは 卒業・進級判定会議により最終決定する。																										
学修支援等	■クラス担任制: 有 ■個別相談・指導等の対応 本人へ継続して連絡すると共に保護者にも連絡をして状況の確認・把握を行い、家庭と学校で連携して対応をする。連絡が取れない状況となれば家庭訪問を行い、来校できる状況であれば日時を指定し保護者と共に学校へ来てもらい三者面談をし、今後の動向について話し合いを行う。		課外活動	■課外活動の種類 学友会(生徒会)活動・学園祭その他のイベント企画内容・地域ボランティア活動・食文化の会  ■サークル活動: 有																										
就職等の 状況	■主な就職先、業界等(平成29年度卒業生) 株式会社ゆう工房、株式会社ALL FOR ONE.等  ■就職指導内容 年2回の個人面談 就職出陣式の開催 合同企業説明会の開催 インターンシップ参加促進  ■卒業生数 7 人 ■就職希望者数 7 人 ■就職者数 7 人 ■就職率 100 % ■卒業生に占める就職者の割合 : 100 %  ■その他  (平成 29 年度卒業生に関する 平成30年5月1日 時点の情報)		主な学修成果 (資格・検定等)	■国家資格・検定/その他・民間検定等 (平成28年度卒業生に関する平成29年5月1日時点の情報) <table border="1"> <thead> <tr> <th>資格・検定名</th> <th>種別</th> <th>受験者数</th> <th>合格者数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>JESCコミュニケーションスキルアップ検定</td> <td>③</td> <td>3人</td> <td>3人</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> ※種別の欄には、各資格・検定について、以下の①~③のいずれかに該当するか記載する。 ①国家資格・検定のうち、修了と同時に取得可能なもの ②国家資格・検定のうち、修了と同時に受験資格を取得するもの ③その他(民間検定等)  ■自由記述欄 (例)認定学科の学生・卒業生のコンテスト入賞状況等			資格・検定名	種別	受験者数	合格者数	JESCコミュニケーションスキルアップ検定	③	3人	3人																
資格・検定名	種別	受験者数	合格者数																											
JESCコミュニケーションスキルアップ検定	③	3人	3人																											
中途退学 の現状	■中途退学者 7 名 ■中退率 9.7 % 平成30年4月1日時点において、在学者72名(平成30年4月1日入学者を含む) 平成31年3月31日時点において、在学者65名(平成31年3月31日卒業生を含む) ■中途退学の主な理由 (例)学校生活への不適合・経済的問題・進路変更等  学校生活への不適合・経済的問題・目的意識低下  ■中退防止・中退者支援のための取組 (例)カウンセリング・再入学・転科の実施等  保護者・学生とのメール交換、4月、10月の個人面談カウンセリング、保護者会での面談、SSCとの連携																													
経済的支援 制度	■学校独自の奨学金・授業料等減免制度: <input checked="" type="radio"/> 有 <input type="radio"/> 無 ※有の場合、制度内容を記入  ■専門実践教育訓練給付: 給付対象・非給付対象 ※給付対象の場合、前年度の給付実績者数について任意記載																													
第三者による 学校評価	■民間の評価機関等から第三者評価: <input type="radio"/> 有 <input checked="" type="radio"/> 無 ※有の場合、例えば以下について任意記載 (評価団体、受審年月、評価結果又は評価結果を掲載したホームページURL)																													
当該学科の ホームページ URL	<a href="http://www.f-culinary.ac.jp">http://www.f-culinary.ac.jp</a>																													

1. 「専攻分野に関する企業、団体等(以下「企業等」という。)との連携体制を確保して、授業科目の開設その他の教育課程の編成を行っていること。」関係

(1)教育課程の編成(授業科目の開設や授業内容・方法の改善・工夫等を含む。)における企業等との連携に関する基本方針

(2)教育課程編成委員会等の位置付け

(3)教育課程編成委員会等の全委員の名簿

平成〇年〇月〇日現在

名前	所属	任期	種別
		平成〇年〇月〇日～平成〇年〇月〇日(2年)	

※委員の種別の欄には、委員の種別のうち以下の①～③のいずれに該当するか記載すること。

- ①業界全体の動向や地域の産業振興に関する知見を有する業界団体、職能団体、地方公共団体等の役職員(1企業や関係施設の役職員は該当しません。)
- ②学会や学術機関等の有識者
- ③実務に関する知識、技術、技能について知見を有する企業や関係施設の役職員

(4)教育課程編成委員会等の年間開催数及び開催時期

(開催日時)

第1回 平成〇年〇月〇日 〇〇:〇〇～〇〇:〇〇  
 第2回 平成〇年〇月〇日 〇〇:〇〇～〇〇:〇〇  
 第〇回 平成〇年〇月〇日 〇〇:〇〇～〇〇:〇〇

(5)教育課程の編成への教育課程編成委員会等の意見の活用状況  
 ※カリキュラムの改善案や今後の検討課題等を具体的に明記。

(別途、以下の資料を提出)

- \* 教育課程編成委員会等の位置付けに係る諸規程
- \* 教育課程編成委員会等の規則
- \* 教育課程編成委員会等の企業等委員の選任理由(推薦学科の専攻分野との関係等)※別紙様式3-1
- \* 学校又は法人の組織図
- \* 教育課程編成委員会等の開催記録

2. 「企業等と連携して、実習、実技、実験又は演習(以下「実習・演習等」という。)の授業を行っていること。」関係

(1)実習・演習等における企業等との連携に関する基本方針

(2)実習・演習等における企業等との連携内容

(3)具体的な連携の例※科目数については代表的な5科目について記載。

科目名	科目概要	連携企業等

(別途、以下の資料を提出)

- \* 企業等との連携に関する協定書等や講師契約書(本人の同意書及び企業等の承諾書)等



3. 「企業等と連携して、教員に対し、専攻分野における実務に関する研修を組織的に行っていること。」関係

(1) 推薦学科の教員に対する研修・研究(以下「研修等」という。)の基本方針

(2) 研修等の実績

① 専攻分野における実務に関する研修等

② 指導力の修得・向上のための研修等

(3) 研修等の計画

① 専攻分野における実務に関する研修等

② 指導力の修得・向上のための研修等

(別途、以下の資料を提出)

- \* 研修等に係る諸規程
- \* 研修等の実績(推薦年度の前年度における実績)
- \* 研修等の計画(推薦年度における計画)

4.「学校教育法施行規則第189条において準用する同規則第67条に定める評価を行い、その結果を公表していること。また、評価を行うに当たっては、当該専修学校の関係者として企業等の役員又は職員を参画させていること。」関係

(1)学校関係者評価の基本方針

(2)「専修学校における学校評価ガイドライン」の項目との対応

ガイドラインの評価項目	学校が設定する評価項目
(1)教育理念・目標	
(2)学校運営	
(3)教育活動	
(4)学修成果	
(5)学生支援	
(6)教育環境	
(7)学生の受入れ募集	
(8)財務	
(9)法令等の遵守	
(10)社会貢献・地域貢献	
(11)国際交流	

※(10)及び(11)については任意記載。

(3)学校関係者評価結果の活用状況

(4)学校関係者評価委員会の全委員の名簿

名前	所属	平成〇年〇月〇日現在	
		任期	種別
		平成〇年〇月〇日～平成〇年〇月〇日(2年)	

※委員の種別の欄には、学校関係者評価委員として選出された理由となる属性を記載すること。

(5)学校関係者評価結果の公表方法・公表時期

(ホームページ・広報誌等の刊行物・その他( ) )

URL:

(別途、以下の資料を提出)

- \* 学校関係者評価委員会の企業等委員の選任理由書(推薦学科の専攻分野との関係等)※別紙様式3-2
- \* 自己評価結果公開資料
- \* 学校関係者評価結果公開資料(自己評価結果との対応関係が具体的に分かる評価報告書)

5.「企業等との連携及び協力の推進に資するため、企業等に対し、当該専修学校の教育活動その他の学校運営の状況に関する情報を提供していること。」関係

(1)企業等の学校関係者に対する情報提供の基本方針

(2)「専門学校における情報提供等への取組に関するガイドライン」の項目との対応

ガイドラインの項目	学校が設定する項目
(1)学校の概要、目標及び計画	
(2)各学科等の教育	
(3)教職員	
(4)キャリア教育・実践的職業教育	
(5)様々な教育活動・教育環境	
(6)学生の生活支援	
(7)学生納付金・修学支援	
(8)学校の財務	
(9)学校評価	
(10)国際連携の状況	
(11)その他	

※(10)及び(11)については任意記載。

(3)情報提供方法

URL:

(別途、以下の資料を提出)

- \* 情報提供している資料

事務担当責任者	フリガナ		所属部署	
	氏名		役職名	
	所在地	〒		
	TEL		FAX	
	E-mail			

(備考)

・用紙の大きさは、日本工業規格A4とする(別紙様式1-2、2-1、2-2、3-1、3-2、4、5、6、7についても同じ。)

## 授業科目等の概要

(〇〇専門課程〇〇学科) 平成〇〇年度															
分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業 時 数	単 位 数	授業方法			場所		教員		企業等との連携
必 修	選 択 必 修	自 由 選 択						講 義	演 習	実 験 ・ 実 習 ・ 実 技	校 内	校 外	専 任	兼 任	
○			コミュニケーション 就職講座	社会人基礎力を学び、就職活動に必要なスキル、コミュニケーションを身に付ける授業です	1 前 1 後	60	4	○			○			○	
○			ホームルーム	イベントに向けての話し合いなど、クラス内のコミュニケーション授業です	1 ・ 2 通	120	8	○			○		○		
○			ホスピタリ ティ 講座	アシスタントホスピタリティコーディネーターの資格取得を目指します。日本のおもてなしも身に付けます	1 後	30	2	○			○			○	
○			海外実学研修	国際性を身につけるための実践教育です	1 後	60	4		○			○	○		
○			進級制作	1年間の集大成となる作品制作、ショップ出店、ディスプレイ展示などを行います。	1 後	30	2		○		○			○	
○			卒業制作	2年間の集大成となる作品制作、ショップ出店、ディスプレイ展示などを行います。	2 後	30	2		○		○			○	
○			ラッピング	包装やリボン掛けから季節に合わせたラッピングまでを学びます	1 前	30	2		○		○			○	
○			接客サービス 実習	接客サービスをトータル的に基礎から身に付けます	1 後	30	2			○	○			○	
○			ショップ演習	お店で出す商品の企画から仕入れ、ディスプレイ、収支までイベントを通じて実践的に学びます	1 ・ 2 前	120	8			○	○			○	○
○			企業プロジェ クト	企業様からメニュー開発の課題をいただき、一人ひとりが独自の商品を作り上げます。	1 後 2 後	120	8			○	○				○
○			業界研修	業界現場で実際の仕事を体験し自己研鑽を行います	随 時	15	1		○			○			○

○		製菓基礎	製菓技術の基礎を取得し、衛生面や素材の知識が身に付くよう学びます	1 通 2 通	120	8	○			○			○	
○		衛生学・栄養学	様々な料理の歴史や文化、食品に関する成分や特性を学び、豊かな食生活を築くための基本的な知識を習得します	1 前	30	2	○			○			○	
○		製菓総合実習	製菓の基本的なメニューから各国の代表的なお菓子まで習得します	1 通	60	4			○	○			○	
○		カフェ販売実習1	お店で出す商品の企画から仕入れ、ディスプレイ、収支までイベントを通じて実践的に学びます	2 通	120	8			○	○			○	○
○		カフェ販売実習2	お店で出す商品の企画から仕入れ、ディスプレイ、収支までイベントを通じて実践的に学びます	2 通	120	8			○	○			○	○

(別紙様式2-1)

実習・演習等において連携する企業等一覧

(○○専門課程○○学科)

番号	名称	位置(所在地)	授業科目名	選任理由
1	株式会社TORIKAI CAFÉ	福岡市早良区石釜1185-1	企業プロジェクト	おから・豆乳を使用したカフェメニュー商品開発
2	(株)エフ・ジェイ エンターテインメントワークス	福岡市博多区綱場町2-2 6F	企業プロジェクト	食と環境について学ぶ、ECOカフェ出店
3				
4				
5				
...				

(留意事項)

- 1 企業等毎に通し番号を付してください。
- 2 実習・演習等の実施にあたり連携している企業等(実施要項の3(3)の要件を満たすものに限り)を全て列記してください。
- 3 記入の仕方は別添3「専修学校の専門課程における職業実践専門課程の認定に関する規定」に関する記入要項を参照してください。

(別紙様式2-2)

企業等と連携した実習・演習等

(衛生専門課程調理師科)

授業科目名	企業プロジェクト	授業時数又は単位数	18時間
実施期間	2018年10月1日～12月2日		
実習・演習等の目的及び概要	大正10年創業の老舗豆腐店の豆乳やおからを使用した、カフェメニューの商品開発に取り組み、カフェの現場で必要とされる『売れる商品力』と『素材のアレンジ』を身に付ける		
企業等との連携の基本方針	商品化に至った物に関しては、福岡市鳥飼カフェ店舗内での製造～販売を行なう		
企業等との連携内容	鳥飼カフェ代表の島原様より企業課題の説明をしていただき、学生が考案～試作。 商品のプレゼンテーションをおこない、企業様のチェック後商品化を行なう。 販売に至っては、店舗内と製造ファクトリーとの連携を図り、学生が一連の商品化の流れを学べる内容で進める。		
学修成果の評価方法	ルセットの原価計算・食材管理・商品売価・プレゼンテーション・販売提供までを総合的に評価する。		
実習・演習等計画			
日程	実習・演習等の内容		実施場所
2018年10月5日	企業様からの企業概要と商品開発課題の説明		カフェ実習室
2018年10月12日	第1回目の試作とルセットの見直し		2階総合実習室
2018年10月19日	第2回目の試作とルセットの清書準備		2階総合実習室
2018年10月26日	第3回目の試作とルセットの清書・プレゼンテーション練習		カフェ実習室
2018年11月9日	学生プレゼンテーション 企業様の試食、アドバイス、改善点等の提案		3階調理実習室
12月2日	鳥飼カフェ店舗にて商品提供		福岡市鳥飼カフェ
連携する企業等	株式会社 TORIKAI CAFÉ		

(留意事項)

企業等と連携する授業科目(実施要項の3(3)の要件を満たすものに限ります。)毎に作成すること。

平成〇年度 教育課程編成委員会等の企業等委員の選任理由書

No	委員の名前	所属	任期	種別	選任理由
1	〇〇 〇〇	一般社団法人〇〇〇団体	平成〇年〇月〇日～ 平成〇年〇月〇日(2年)	①	(ア)〇〇〇は、...を業務としており、業界において...であるから、推薦学科と...の関係がある。 (イ)〇〇は、〇〇〇において、...であるため、企業等委員として選任した。
2	〇〇 〇〇	〇〇〇株式会社	平成〇年〇月〇日～ 平成〇年〇月〇日(2年)	③	(ア)〇〇〇は、...を業務としており、業界において...であるから、推薦学科と...の関係がある。 (イ)〇〇は、〇〇〇において、...であるため、企業等委員として選任した。
3					
4					
5					
...					

- 学科ごとに作成すること
- 委員の種別の欄には、委員の種別のうち以下の①～③のいずれに該当するか記載すること。
  - ①業界全体の動向や地域の産業振興に関する知見を有する業界団体、職能団体、地方公共団体等の役職員(1企業や関係施設の役職員は該当しません。)
  - ②学会や学術機関等の有識者
  - ③実務に関する知識、技術、技能について知見を有する企業や関係施設の役職員
- 選任理由の欄には、以下の(ア)及び(イ)に該当する具体的な内容を必ず記載すること。
  - (ア)推薦学科との関係性(推薦学科の専攻分野と委員の所属する業界団体や企業等の業務内容、相互の関係性等)
  - (イ)当該委員の当該組織内における役割

(別紙様式3-2)

平成〇年度 学校関係者評価委員会の企業等委員の選任理由書

No	委員の名前	所属	任期	種別	選任理由
1	〇〇 〇〇	一般社団法人〇〇〇団体	平成〇年〇月〇日～ 平成〇年〇月〇日(2年)	企業等委員	(ア)〇〇〇は、・・・を業務としており、業界において・・・であるから、推薦学科と・・・の関係がある。 (イ)〇〇は、〇〇〇において、・・・であるため、企業等委員として選任した。
2	〇〇 〇〇	〇〇〇株式会社	平成〇年〇月〇日～ 平成〇年〇月〇日(2年)	PTA	—
3					
4					
5					
...					

- 学科ごとに作成すること
- 委員の種別の欄には、学校関係者委員として選出された理由となる属性を記載してください。  
(例)企業等委員、PTA、卒業生、校長等
- 企業等委員の選任理由の欄には、以下の(ア)及び(イ)に該当する具体的な内容を必ず記載すること。  
(ア)推薦学科との関係性(推薦学科の専攻分野と委員の所属する業界団体や企業等の業務内容、相互の関係性等)  
(イ)当該委員の当該組織内における役割



職業実践専門課程の基本情報について

学校名	設置認可年月日	校長名	所在地																			
福岡キャリアナー製菓調理専門学校	平成20年9月18日	上川 明	〒812-0032 福岡県福岡市博多区石城町20-9 (電話) 092-262-4488																			
設置者名	設立認可年月日	代表者名	所在地																			
滋慶文化学園	平成8年3月13日	覚野 博夫	〒812-0032 福岡県福岡市博多区石城町21-2 (電話) 092-263-6747																			
分野	認定課程名	認定学科名	専門士	高度専門士																		
衛生	衛生専門課程	カフェ総合科(カフェパティシエコース)	平成22年文部科学省 告示第152号	-																		
学科の目的	カフェフードやドリンクなどの製造販売を行う人材を養成します。また、高い技術力、オリジナル商品を作るクリエイティブ力、ビジネス感覚をバランスよく身につけた人材を養成します。																					
認定年月日	平成26年3月31日																					
修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な 総授業時数又は総単位数	講義	演習	実習	実験																
2年	昼間	1860時間	330時間	525時間	1380時間	単位時間																
生徒総定員	生徒実員	留学生数(生徒実員の内)	専任教員数	兼任教員数	総教員数																	
80	72人(内10人)	2人	2人	12人	14人																	
学期制度	■前期:4月8日～9月15日 ■後期:10月1日～2月13日		成績評価	■成績表: 有 ■成績評価の基準・方法 学期末にテストの成績や出席率などで総合判断とする																		
長期休み	■学年始:4月8日 ■夏季:7月24日～8月19日 ■冬季:12月21日～1月13日 ■学年末:2月26日～3月31日		卒業・進級条件	各年次出席率66.7%以上57単位以上を取得したものは進級、卒業する事ができる。上記に該当しないものは卒業、進級判定会議により最終決定する																		
学修支援等	■クラス担任制: 有 ■個別相談・指導等の対応 本人へ継続して連絡すると共に保護者にも連絡をして状況の確認・把握を行い、家庭と学校で連携して対応をする。連絡が取れない状況となれば家庭訪問を行い、来校できる状況であれば日時を指定し保護者と共に学校へ来てもらい三者面談をし、今後の動向について話し合いを行う。		課外活動	■課外活動の種類 校友会(生徒会)活動【学園祭その他イベントの企画運営】地域ボランティア活動 ■サークル活動: 有																		
就職等の状況※2	■主な就職先・業界等(平成29年度卒業生) 株式会社ゆう工房、株式会社ALL FOR ONE.等 ■就職指導内容 年2回の個人面談 就職出陣式の開催 合同企業説明会の開催 インターンシップ参加促進 ■卒業生数: 7人 ■就職希望者数: 7人 ■就職者数: 7人 ■就職率: 100% ■卒業生に占める就職者の割合: 100% ■その他 (平成30年度卒業生に関する 令和1年5月1日 時点の情報)		主な学修成果(資格・検定等)※3	■国家資格・検定/その他・民間検定等 (平成30年度卒業生に関する平成29年5月1日時点の情報) <table border="1"> <tr> <th>資格・検定名</th> <th>種</th> <th>受験者数</th> <th>合格者数</th> </tr> <tr> <td>JESCコミュニケーションスキルアップ検定</td> <td>③</td> <td>3人</td> <td>3人</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> ※複数の欄には、各資格・検定について、以下の①～③のいずれかに該当するか記載する。 ①国家資格・検定のうち、修了と同時に取得可能なもの ②国家資格・検定のうち、修了と同時に受験資格を取得するもの ③その他(民間検定等) ■自由記述欄 (例)認定学科の学生・卒業生のコンテスト入賞状況等			資格・検定名	種	受験者数	合格者数	JESCコミュニケーションスキルアップ検定	③	3人	3人								
資格・検定名	種	受験者数	合格者数																			
JESCコミュニケーションスキルアップ検定	③	3人	3人																			
中途退学の現状	■中途退学者 7名 平成30年4月1日時点において、在学者72名(平成29年4月1日入学者を含む) 平成31年3月31日時点において、在学者65名(平成31年3月31日卒業生を含む) ■中途退学の主な理由 (例)学校生活への不適合・経済的問題・進路変更等 学校生活への不適合・経済問題・目的意識低下 ■中退防止・中退者支援のための取組 (例)カウンセリング・再入学・転科の実施等 学生・保護者様とのメール交換・保護者様面談会・SSC案内・個別カウンセリング・マネー教育の実施等		■中退率 9.7%																			
経済的支援制度	■学校独自の奨学金・授業料等減免制度: 有・無 ※有の場合、制度内容を記入 ■専門実践教育訓練給付: 給付対象・非給付対象 ※給付対象の場合、前年度の給付実績者数について任意記載																					
第三者による学校評価	■民間の評価機関等から第三者評価: 有・無 ※有の場合、例えば以下について任意記載 (評価団体、受審年月、評価結果又は評価結果を掲載したホームページURL)																					
当該学科のホームページURL	<a href="http://www.f-culinary.ac.jp">http://www.f-culinary.ac.jp</a>																					

(留意事項)

1. 公表年月日(※1)

最新の公表年月日です。なお、認定課程においては、認定後1か月以内に本様式を公表するとともに、認定の翌年度以降、毎年度7月末を基準日として最新の情報を反映した内容を公表することが求められています。初回認定の場合は、認定を受けた告示日以降の日付を記入し、前回公表年月日は空欄としてください

2. 就職等の状況(※2)

「就職率」及び「卒業生に占める就職者の割合」については、「文部科学省における専修学校卒業生の「就職率」の取扱いについて(通知)(25文科第596号)」に留意し、それぞれ、「大学・短期大学・高等専門学校及び専修学校卒業予定者の就職(内定)状況調査」又は「学校基本調査」における定義に従います。

(1)「大学・短期大学・高等専門学校及び専修学校卒業予定者の就職(内定)状況調査」における「就職率」の定義について

①「就職率」については、就職希望者に占める就職者の割合をいい、調査時点における就職者数を就職希望者で除したものをいいます。

②「就職希望者」とは、卒業年度中に就職活動を行い、大学等卒業後速やかに就職することを希望する者をいい、卒業後の進路として「進学」「自営業」「家事手伝い」「留年」「資格取得」などを希望する者を含みません。

③「就職者」とは、正規の職員(雇用契約期間が1年以上の非正規の職員として就職した者を含む)として最終的に就職した者(企業等から採用通知などが出された者)をいいます。

※「就職(内定)状況調査」における調査対象の抽出のための母集団となる学生等は、卒業年次に在籍している学生等とします。ただし、卒業の見込みのない者、休学中の者、留学生、聴講生、科目履修生、研究生及び夜間部、医学科、歯学科、獣医学科、大学院、専攻科、別科の学生は除きます。

(2)「学校基本調査」における「卒業生に占める就職者の割合」の定義について

①「卒業生に占める就職者の割合」とは、全卒業生数のうち就職者総数の占める割合をいいます。

②「就職」とは給料、賃金、報酬その他経常的な収入を得る仕事に就くことをいいます。自家・自営業に就いた者は含めるが、家事手伝い、臨時的な仕事に就いた者は就職者とはしません(就職したが就職先が不明の者は就職者として扱う)。

(3)上記のほか、「就職者数(関連分野)」は、「学校基本調査」における「関連分野に就職した者」を記載します。また、「その他」の欄は、関連分野へのアルバイト者数や進

3. 主な学修成果(※3)

認定課程において取得目標とする資格・検定等状況について記載するものです。①国家資格・検定のうち、修了と同時に取得可能なもの、②国家資格・検定のうち、修了と同時に受験資格を取得するもの、③その他(民間検定等)の種類区分とともに、名称、受験者数及び合格者数を記載します。自由記述欄には、各認定学科における代表的な学修成果(例えば、認定学科の学生・卒業生のコンテスト入賞状況等)について記載します。

1.「専攻分野に関する企業、団体等(以下「企業等」という。)との連携体制を確保して、授業科目の開設その他の教育課程の編成を行っていること。」関係

(1)教育課程の編成(授業科目の開設や授業内容・方法の改善・工夫等を含む。)における企業等との連携に関する基本方針

企業との連携について、従来、学科の養成目的(学生が卒業時に身につけておくべき能力)実現にむけ、学校の教職員と業界で活躍している兼任教員(非常勤講師)が、講師授業科目の開設や授業内容の改善を図るため、年2回の講師会議を開催しています。  
このたび、新たに設置する教育課程編成委員会においては、非常勤講師以外の業界関係者からの意見も、より詳細に教育内容に反映させることを目的とします。

(2)教育課程編成委員会等の位置付け  
教育課程編成委員会は理事会のもとに設置され、委員会の適切な運営は理事長が担保することになっています。また、学校運営においては教務組織規則において、「委員会での審議を通じて示された企業等の要請その他の情報、意見を十分に生かし、実践的かつ専門的な職業教育を実施するにふさわしい教育課程の編成に努める」ことが明記され、この定めに従い、委員会を運営します。委員会での審議事項は教務会議において競技され次年度のカリキュラムに取り入れていきます。

(3)教育課程編成委員会等の全委員の名簿 平成31年3月31日現在

名前	所属	任期	種別
谷内 雅夫	博多食文化の会 会員 ホテルオークラ福岡総料理長	平成30年4月1日～令和2年3月31日(2年)	①
金子 久幸	有限会社 ベル・エキブ オーナー	平成30年4月1日～令和2年3月31日(2年)	③
勝野 良治	有限会社 寿司の次郎長 店主	平成30年4月1日～令和2年3月31日(2年)	③
内野 浩一郎	うちの珈琲研究所 所長	平成30年4月1日～令和2年3月31日(2年)	③
四丸 太	キャトル オーナーシェフ	平成30年4月1日～令和2年3月31日(2年)	③

※委員の種別の欄には、委員の種別のうち以下の①～③のいずれに該当するか記載すること。

- ①業界全体の動向や地域の産業振興に関する知見を有する業界団体、職能団体、地方公共団体等の役職員(1企業や関係施設の役職員は該当しません。)
- ②学会や学術機関等の有識者
- ③実務に関する知識、技術、技能について知見を有する企業や関係施設の役職員

(4)教育課程編成委員会等の年間開催数及び開催時期  
年間開催数2回 開催時期 6月と2～3月

(開催日時)  
第1回 平成30年6月14日 14:45～16:45  
第2回 平成31年3月11日 15:30～16:30

(5)教育課程の編成への教育課程編成委員会等の意見の活用状況  
業界の求める人材と現在の学生の希望が異なってきている。これからの時代はホスピタリティをしっかりと身に付けた学生が必要となるので授業内でもおもてなしをしっかりと身に付けさせていった方がいい。カリキュラムに関しても時代に合わせて年々変えていく必要があるのではとの意見をもらい定期的に見直しをかけております。製菓製パン科においては販売実習の授業内での販売や接客に関してのレベルアップが必要とのことで授業内で製造だけでなく接客販売の授業を取り入れてまいりました。

2.「企業等と連携して、実習、実技、実験又は演習(以下「実習・演習等」という。)の授業を行っていること。」関係

(1)実習・演習等における企業等との連携に関する基本方針

本校は卒業後の業界に直結した職業人教育を行う学校であり、各業界と連携し、共にスペシャリストを育成することを目的としている。業界研修では、現場の実習で実践力を身につけ評価を行い、就職にもつながっている

(2)実習・演習等における企業等との連携内容

企業プロジェクトでは企業様から直接課題を頂き商品を開発プレゼンテーションを行い商品化を目指したり、販売実習においては実際にお店で出されている商品を製造販売する際にどのように行うのかを指導を受けながら実践しております。またそれぞれの授業で作った商品の評価をその場で受けてその評価を総合したものが成績にも反映されております。

(3)具体的な連携の例※科目数については代表的な5科目について記載。

科目名	科目概要	連携企業等
業界研修	業界現場で、実際の仕事を体験し、自己研鑽を行います。	フランス菓子16区/キャトル/有限会社銀のスプーン / ベルエキブ/有限会社一柳 / その他10社
販売実習Ⅰ	業界の先生から個人店で実際に販売や提供されている商品作りを学ぶことが出来る	ベルエキブ ニコシヨコラティエ
販売実習Ⅱ	業界の先生からホテルや企業で実際に販売や提供されている商品作りを学ぶことが出来る	ホテル日航福岡 グランドハイアット ヒルトン福岡
企業プロジェクト	業界から課題を頂きその趣旨に沿った商品を開発プレゼンテーションを行います	ホテル日航福岡 ヒルトン福岡
コンテストゼミ	業界で活躍する講師の方々から世界大会や全国の大会で入賞するために必要な技術知識気構えを学ぶ授業です	クラブハリエ 森永乳業

3.「企業等と連携して、教員に対し、専攻分野における実務に関する研修を組織的に行っていること。」関係

(1)推薦学科の教員に対する研修・研究(以下「研修等」という。)の基本方針

学園の定める教員研修規程において、教員の授業内容・教育技法の改善並びにクラス運営方法の向上、マネジメント能力を含む指導力の向上を研修の目的と定めています。

また毎年中途退学防止に向けた「学生一人ひとり」見ていく視点を、講師会で企業の方と共有する研修を行っています。新入職者研修とFDマイクロレベル監修は初年度の職員 2年目3年目はカウンセリング研修1次・2次を受講 4年目以降はFDミドルレベル研修 さらにFDマクロレベル研修と段階を置いて計画的に研修を受講することになっております。

(2) 研修等の実績

① 専攻分野における実務に関する研修等

福岡県洋菓子協会やグループ校主催による技術研修を行っている。講師には企業の方が来られ技術や知識のレベルアップを図っている。毎年7月にはグループ校において指導方法の勉強会などの技術者研修会を開催

② 指導力の修得・向上のための研修等

指導力の向上の為に外部機関JESC教育科学研究所主催の研修を受講 ミクロ研修は初年度勤務者4日間 ミドル研修は5年以上の勤務者2日間 マクロは管理職1日の内容期間で受けるようになっており年間を通じて研修計画を立てている。FDマクロ研修 9月 ミクロ研修 4月、10月

(3) 研修等の計画

① 専攻分野における実務に関する研修等

年間を通じて研修計画を立てている。年に2回の洋菓子協会主催の技術講習会受講(4月から10月の期間)滋慶学園グループ校の技術者による年1回(7月)の技術研修会

② 指導力の修得・向上のための研修等

年間を通じて外部機関JESC教育科学研究所と共に研修計画を立てている。FDマイクロ研修年2回4月・10月 FDミドル年1回6月 FDマクロ年1回9月 カウンセリング研修1次・2次 9月受講対象者は3-(1)を参照

4. 「学校教育法施行規則第189条において準用する同規則第67条に定める評価を行い、その結果を公表していること。また、評価を行うに当たっては、当該専修学校の関係者として企業等の役員又は職員を参画させていること。」関係

(1) 学校関係者評価の基本方針

卒業生、保護者代表、近隣関係者、高校関係者ともに、業界関係者により構成される学校関係者評価委員会を組織し、この委員会が、学校教職員が行った自己点検・自己評価の内容を審議・評価することを通し、学校運営の改善に生かすことを方針とします。

(2) 「専修学校における学校評価ガイドライン」の項目との対応

ガイドラインの評価項目	学校が設定する評価項目
(1) 教育理念・目標	教育理念・目的・育成人材像
(2) 学校運営	学校運営
(3) 教育活動	教育活動
(4) 学修成果	教育成果
(5) 学生支援	学生支援
(6) 教育環境	教育環境
(7) 学生の受入れ募集	学生募集と受け入れ
(8) 財務	財務
(9) 法令等の遵守	法令等の遵守
(10) 社会貢献・地域貢献	社会貢献
(11) 国際交流	

※(10)及び(11)については任意記載。

(3) 学校関係者評価結果の活用状況

平成28年度は「人間教育」「実学教育」について重点的に話し合いが行われ、職業観を意識した指導の実践方法として各委員よりアドバイスを頂く。製菓製パン科では授業開始時の挨拶の徹底や清掃などが不十分であるとの意見があった為教務会議にて協議を行い次年度に改善をすることにしていきます。

(4) 学校関係者評価委員会の全委員の名簿

平成31年3月31日現在

名前	所属	任期	種別
谷内 雅夫	博多食文化の会 会員 田テラオークラ福岡総料理長	平成30年4月1日～平成30年3月31日	企業等委員
金子 久幸	有限会社 ベル・エキブ オーナー	平成30年4月1日～平成30年3月31日	企業等委員
勝野 良治	有限会社 寿司の次郎長 店主	平成30年4月1日～平成30年3月31日	企業等委員
内野 浩一郎	うちの珈琲研究所 所長	平成30年4月1日～平成30年3月31日	企業等委員
田中 眞太郎	福岡県立香椎高等学校	平成30年4月1日～平成30年3月31日	高等学校校長
大島 弘枝	福岡市大浜公民館	平成30年4月1日～平成30年3月31日	地域代表
有浦 夕貴	ホテル日航福岡	平成30年4月1日～平成30年3月31日	卒業生代表
石井 深晴	保護者代表	平成30年4月1日～平成30年3月31日	保護者代表

※委員の種別の欄には、学校関係者評価委員として選出された理由となる属性を記載すること。

(例) 企業等委員、PTA、卒業生等

(5) 学校関係者評価結果の公表方法・公表時期

ホームページ・広報誌等の刊行物・その他( ) 毎年9月更新

学校の公式ホームページ内で公表 URL: <http://www.f-culinary.ac.jp>

5. 「企業等との連携及び協力の推進に資するため、企業等に対し、当該専修学校の教育活動その他の学校運営の状況に関する情報を提供していること。」関係

(1) 企業等の学校関係者に対する情報提供の基本方針

学校で毎年定める事業計画の実行方針において提起された目標(カリキュラムのイノベーション、中途退学防止、卒業後の離職防止等)を具体化するため、企業等からのヒアリングを行い、業界の動きを踏まえた実行計画を作成しています。企業等への具体的な情報提供方法としては、業界関係者である兼任教員と教職員の間で講師会議を開催し、授業科目編成や各科目のシラバスなどについて審議を行い、そこで出された意見を実効案へと反映させています。また、学外実習(インターンシップ)においても、原則として実習先に教員が訪問し、学生の実習状況の確認のみならず、学校・学科運営に対する意見を聞き取り、意見を集約するようにしています。

(2) 「専門学校における情報提供等への取組に関するガイドライン」の項目との対応

ガイドラインの項目	学校が設定する項目
(1) 学校の概要、目標及び計画	校長名、所在地、連絡先、学校の沿革、建学の理念、学校安全関連、保健対策

(2)各学科等の教育	受入方針、定員、在校生数、卒業生数、教科課程、学年暦、シラバス、卒業・進級判断規定、卒業と同時に取得する称号、検定資格など、卒業生数、卒業後の進路(主な就職先)
(3)教職員	教職員数、学校組織図、教員の実績
(4)キャリア教育・実践的職業教育	キャリア教育への取り組み、就職支援の取り組み
(5)様々な教育活動・教育環境	施設紹介、海外実学研修
(6)学生の生活支援	中途退学防止の取り組み(中途退学状況、進路変更委員会)、学生健康管理(慶生会紹介)、カウンセリング研修
(7)学生納付金・修学支援	学費一覧、活用できる奨学金、教育ローン案内など
(8)学校の財務	学校財務
(9)学校評価	学校関係者評価委員会
(10)国際連携の状況	留学生支援、留学生受け入れ状況、海外との交流
(11)その他	

※(10)及び(11)については任意記載。

(3)情報提供方法  
 学校の公式ホームページ内で公表 URL:<http://www.f-culinary.ac.jp>

## 授業科目等の概要

(衛生専門課程カフェ総合学科) 平成30年度															
分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業 時 数	単 位 数	授業方法			場所		教員		企業等との連携
必 修	選 択 必 修	自 由 選 択						講 義	演 習	実 験・ 実 習・ 実 技	校 内	校 外	専 任	兼 任	
○			ホスピタリティ就職講座	接客マナー等を学び、おもてなしの心を身につけます。また、就職活動に必要なスキル、コミュニケーション力を身につけます。	1後2前	60	4	○			○			○	
○			ホームルーム	イベントに向けての話し合いなど、クラス内のコミュニケーション授業です。	1・2通	120	8	○			○			○	
○			海外実学研修	国際性を身につけるための実践教育です。	1後	60	4		○			○	○		
○			進級制作	1年間の集大成となる作品制作、ショップ出店、ディスプレイ展示などを行います。	1後	30	2		○		○		○		
○			卒業制作	2年間の集大成となる作品制作、ショップ出店、ディスプレイ展示などを行います。	2後	30	2		○		○		○		
○			ディスプレイ	店内のインテリア、ディスプレイなどのノウハウと技術を身につけます。	1通	60	4		○		○			○	
○			接客サービス実習	接客サービスをトータル的に基礎から身に付けます。	2前	30	2			○	○			○	
○			企業プロジェクト	企業様からメニュー開発の課題をいただき、一人ひとりが独自の商品を作り上げます。	1後2後	120	8			○	○				○
○			業界研修	業界現場で実際の仕事を体験し自己研鑽を行います。	随時	15	1		○			○			○
○			製菓理論・衛生学	パティシエの原材料知識や食品衛生の基本、食品取り扱いに関する知識、食材の安全な保管などの知識を学びます。	1通	60	4	○			○			○	
○			食品学・栄養学	様々な料理の歴史や文化、食品に関する成分や特性を学び、豊かな食生活を築くための基本的な知識を習得します。	2後	30	2	○			○			○	

○		製菓実習 1	製菓技術の基礎技術を通して、衛生面、素材の知識が身につくように学びます。	1通	120	8				○	○	○		
○		製菓実習 2	製菓技術の基礎技術を通して、衛生面、素材の知識が身につくように学びます。	1通	120	8				○	○	○		
○		製菓実習 3	製菓技術の基礎技術を通して、衛生面、素材の知識が身につくように学びます。	1通	120	8				○	○	○		
○		カフェ販売実習 1	お店で出す商品の企画から仕入れ、ディスプレイ、収支までイベントを通じて実践的に学びます。	2通	120	8				○	○	○	○	
○		カフェ販売実習 2	お店で出す商品の企画から仕入れ、ディスプレイ、収支までイベントを通じて実践的に学びます。	2通	120	8				○	○	○	○	
○		コーヒー実習	技術の基礎技術を通して、衛生面、素材の知識が身につくように学びます。	1通	60	4				○	○	○		
○		バリスタ実習 1	製菓技術の基礎技術を通して、衛生面、素材の知識が身につくように学びます。	2通	120	8				○	○	○		
○		バリスタ実習 2シアトル	製菓技術の基礎技術を通して、衛生面、素材の知識が身につくように学びます。	2通	120	8				○	○	○		
○		バリスタ実習 2イタリア	製菓技術の基礎技術を通して、衛生面、素材の知識が身につくように学びます。	2通	120	8				○	○	○		
	○	ビバレッジ実習	コーヒー、ソフトドリンク、アレンジドリンク、紅茶等を学びます。	1・2通	30	2				○	○	○		
	○	アルコール実習	アルコールドリンクの知識や技術等を学びます。	1・2通	30	2				○	○	○		
	○	コンピュータ演習	コンピュータの基本的な使い方を学びます。	1・2通	30	2			○	○		○		
	○	コーヒー総合実習	1年生で学んだコーヒーの知識をより深め、広げて行きます。	2後	30	2				○	○	○		
	○	ベーシックデザイン	デッサンの基礎と立体構成を考えるためのデザイン力を身につけます。	1前 2通	30	2			○	○		○		
○		バリスタ実習 3	フランス語の基礎を学びます。	1前	30	2	○			○		○		

○	英会話	海外実学研修で外国人とコミュニケーションを図るために必要な英語を学びます。	1通	30	2	○			○		○
	○	フードカラーコーディネート	テーブル配置を考え、色彩心理の基本、効果的な色の使い方を身につけます。	2後	30	2		○		○	○
	○	ショップマネジメント	経営に必要なマネジメント、計数管理のノウハウを身につけます。	2通	30	2	○			○	○
	○	コンテストゼミ	コンテストに必要な高度な技術をマスターします。	1後 2通	180	12			○	○	○
	○	ビバレッジ実習	コーヒー、ソフトドリンク、アレンジドリンク、紅茶等を学びます。	1・ 2通	30	2			○	○	○
	○	特別講義&見学	業界で活躍中のプロの方々から豊富な知識・情報を頂く特別授業や各種施設の見学を行います。	随時	60	4			○	○	○
	○	製菓基礎	製菓技術の基礎技術を通して、衛生面、素材の知識が身に付くように学びます。	2前	30	2			○	○	○
	○	製パン実習	実習における基礎的な作業、技術を習得します。	2前	60	4			○	○	○
	○	フードコーディネート	調理・栄養計算・テーブルコーディネートなど、食を基軸とするあらゆる分野を総合的な視点でコーディネートする力を身につけます	2後	30	2			○	○	○
	○	コンピュータ演習	コンピュータの基本的な使い方を学びます。	1・ 2後	30	2			○	○	○
	○	PCデザイン	コンピュータの基本的な使い方を学びます。	1・ 2後	30	2			○	○	○
	○	テーブルカラーコーディネート	テーブル配置を考え、色彩心理の基本、効果的な色の使い方を身につけます。	1後	30	2			○	○	○
合計		39科目		1860単位時間(124単位)							

卒業要件及び履修方法

授業期間等

1学年の学期区分	前期・後期
1学期の授業期間	15週

(留意事項)

- 一の授業科目について、講義、演習、実験、実習又は実技のうち二以上の方法の併用により行う場合については、主たる方法について○を付し、その他の方法について△を付すこと。
- 企業等との連携については、実施要項の3(3)の要件に該当する授業科目について○を付すこと。

職業実践専門課程の基本情報について

学校名	設置認可年月日	校長名	所在地																			
福岡キャリアナー製菓調理専門学校	平成20年9月18日	上川 明	〒812-0032 福岡県福岡市博多区石城町20-9 (電話) 092-262-4488																			
設置者名	設立認可年月日	代表者名	所在地																			
滋慶文化学園	平成8年3月13日	覚野 博夫	〒812-0032 福岡県福岡市博多区石城町21-2 (電話) 092-263-6747																			
分野	認定課程名	認定学科名	専門士	高度専門士																		
衛生	衛生専門課程	カフェ総合科(カフェバリスタコース)	平成22年文部科学省 告示第152号	-																		
学科の目的	カフェフードやドリンクなどの製造販売を行う人材を養成します。また、高い技術力、オリジナル商品を作るクリエイティブ力、ビジネス感覚をバランスよく身につけた人材を養成します。																					
認定年月日	平成26年3月31日																					
修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な 総授業時数又は総単位数	講義	演習	実習	実験																
2年	昼間	1860時間	330時間	525時間	1380時間	単位時間																
生徒総定員	生徒実員	留学生数(生徒実員の内)	専任教員数	兼任教員数	総教員数																	
80	72人(内16人)	2人	2人	12人	14人																	
学期制度	■前期:4月8日～9月15日 ■後期:10月1日～2月13日		成績評価	■成績表: 有 ■成績評価の基準・方法 学期末にテストの成績や出席率などで総合判断とする																		
長期休み	■学年始:4月8日 ■夏季:7月24日～8月19日 ■冬季:12月21日～1月13日 ■学年末:2月26日～3月31日		卒業・進級条件	各年次出席率66.7%以上57単位以上を取得したものは進級、卒業する事ができる。上記に該当しないものは卒業、進級判定会議により最終決定する																		
学修支援等	■クラス担任制: 有 ■個別相談・指導等の対応 本人へ継続して連絡すると共に保護者にも連絡をして状況の確認・把握を行い、家庭と学校で連携して対応をする。連絡が取れない状況となれば家庭訪問を行い、来校できる状況であれば日時を指定し保護者と共に学校へ来てもらい三者面談をし、今後の動向について話し合いを行う。		課外活動	■課外活動の種類 校友会(生徒会)活動【学園祭その他イベントの企画運営】地域ボランティア活動 ■サークル活動: 有																		
就職等の状況※2	■主な就職先・業界等(平成30年度卒業生) 株式会社バルニバービ、ア・ラ・カンパニー等 ■就職指導内容 年2回の個人面談 就職出陣式の開催 合同企業説明会の開催 インターンシップ参加促進 ■卒業生数: 8人 ■就職希望者数: 8人 ■就職者数: 8人 ■就職率: 100% ■卒業生に占める就職者の割合: 100% ■その他 (平成30年度卒業生に関する 令和1年5月1日 時点の情報)		主な学修成果(資格・検定等)※3	■国家資格・検定/その他・民間検定等 (平成30年度卒業生に関する平成29年5月1日時点の情報) <table border="1"> <tr> <th>資格・検定名</th> <th>種</th> <th>受験者数</th> <th>合格者数</th> </tr> <tr> <td>JESCコミュニケーションスキルアップ検定</td> <td>③</td> <td>8人</td> <td>8人</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> ※3 複数の欄には、各資格・検定について、以下の①～③のいずれかに該当するか記載する。 ①国家資格・検定のうち、修了と同時に取得可能なもの ②国家資格・検定のうち、修了と同時に受験資格を取得するもの ③その他(民間検定等) ■自由記述欄 (例)認定学科の学生・卒業生のコンテスト入賞状況等			資格・検定名	種	受験者数	合格者数	JESCコミュニケーションスキルアップ検定	③	8人	8人								
資格・検定名	種	受験者数	合格者数																			
JESCコミュニケーションスキルアップ検定	③	8人	8人																			
中途退学の現状	■中途退学者 7名 平成30年4月1日時点において、在学者72名(平成29年4月1日入学者を含む) 平成31年3月31日時点において、在学者65名(平成31年3月31日卒業生を含む) ■中途退学の原因 (例)学校生活への不適合・経済的問題・進路変更等 学校生活への不適合・経済的問題・目的意識低下 ■中退防止・中退者支援のための取組 (例)カウンセリング・再入学・転科の実施等 学生・保護者様とのメール交換・保護者様面談会・SSC案内・個別カウンセリング・マネー教育の実施等		■中退率 9.7%																			
経済的支援制度	■学校独自の奨学金・授業料等減免制度: 有・無 ※有の場合、制度内容を記入 ■専門実践教育訓練給付: 給付対象 非給付対象 ※給付対象の場合、前年度の給付実績者数について任意記載																					
第三者による学校評価	■民間の評価機関等から第三者評価: 有・無 ※有の場合、例えば以下について任意記載 (評価団体、受審年月、評価結果又は評価結果を掲載したホームページURL)																					
当該学科のホームページURL	<a href="http://www.f-culinary.ac.jp">http://www.f-culinary.ac.jp</a>																					

(留意事項)

1. 公表年月日(※1)

最新の公表年月日です。なお、認定課程においては、認定後1か月以内に本様式を公表するとともに、認定の翌年度以降、毎年度7月末を基準日として最新の情報を反映した内容を公表することが求められています。初回認定の場合は、認定を受けた告示日以降の日付を記入し、前回公表年月日は空欄としてください

2. 就職等の状況(※2)

「就職率」及び「卒業生に占める就職者の割合」については、「文部科学省における専修学校卒業生の「就職率」の取扱いについて(通知)(25文科第596号)」に留意し、それぞれ、「大学・短期大学・高等専門学校及び専修学校卒業予定者の就職(内定)状況調査」又は「学校基本調査」における定義に従います。

(1)「大学・短期大学・高等専門学校及び専修学校卒業予定者の就職(内定)状況調査」における「就職率」の定義について

①「就職率」については、就職希望者に占める就職者の割合をいい、調査時点における就職者数を就職希望者で除したものをいいます。

②「就職希望者」とは、卒業年度中に就職活動を行い、大学等卒業後速やかに就職することを希望する者をいい、卒業後の進路として「進学」「自営業」「家事手伝い」「留年」「資格取得」などを希望する者を含みません。

③「就職者」とは、正規の職員(雇用契約期間が1年以上の非正規の職員として就職した者を含む)として最終的に就職した者(企業等から採用通知などが出された者)をいいます。

※「就職(内定)状況調査」における調査対象の抽出のための母集団となる学生等は、卒業年次に在籍している学生等とします。ただし、卒業の見込みのない者、休学中の者、留学生、聴講生、科目履修生、研究生及び夜間部、医学科、歯学科、獣医学科、大学院、専攻科、別科の学生は除きます。

(2)「学校基本調査」における「卒業生に占める就職者の割合」の定義について

①「卒業生に占める就職者の割合」とは、全卒業生数のうち就職者総数の占める割合をいいます。

②「就職」とは給料、賃金、報酬その他経常的な収入を得る仕事に就くことをいいます。自家・自営業に就いた者は含めるが、家事手伝い、臨時的な仕事に就いた者は就職者とはしません(就職したが就職先が不明の者は就職者として扱う)。

(3)上記のほか、「就職者数(関連分野)」は、「学校基本調査」における「関連分野に就職した者」を記載します。また、「その他」の欄は、関連分野へのアルバイト者数や進

3. 主な学修成果(※3)

認定課程において取得目標とする資格・検定等状況について記載するものです。①国家資格・検定のうち、修了と同時に取得可能なもの、②国家資格・検定のうち、修了と同時に受験資格を取得するもの、③その他(民間検定等)の種類区分とともに、名称、受験者数及び合格者数を記載します。自由記述欄には、各認定学科における代表的な学修成果(例えば、認定学科の学生・卒業生のコンテスト入賞状況等)について記載します。



1.「専攻分野に関する企業、団体等(以下「企業等」という。)との連携体制を確保して、授業科目の開設その他の教育課程の編成を行っていること。」関係

(1)教育課程の編成(授業科目の開設や授業内容・方法の改善・工夫等を含む。)における企業等との連携に関する基本方針

企業との連携について、従来、学科の養成目的(学生が卒業時に身につけておくべき能力)実現にむけ、学校の教職員と業界で活躍している兼任教員(非常勤講師)が、講師授業科目の開設や授業内容の改善を図るため、年2回の講師会議を開催しています。  
このたび、新たに設置する教育課程編成委員会においては、非常勤講師以外の業界関係者からの意見も、より詳細に教育内容に反映させることを目的とします。

(2)教育課程編成委員会等の位置付け  
教育課程編成委員会は理事会のもとに設置され、委員会の適切な運営は理事長が担保することになっています。また、学校運営においては教務組織規則において、「委員会での審議を通じて示された企業等の要請その他の情報、意見を十分に生かし、実践的かつ専門的な職業教育を実施するにふさわしい教育課程の編成に努める」ことが明記され、この定めに従い、委員会を運営します。委員会での審議事項は教務会議において競技され次年度のカリキュラムに取り入れていきます。

(3)教育課程編成委員会等の全委員の名簿 平成31年3月31日現在

名前	所属	任期	種別
谷内 雅夫	博多食文化の会 会員 ホテルオークラ福岡総料理長	平成30年4月1日～令和2年3月31日(2年)	①
金子 久幸	有限会社 ベル・エキブ オーナー	平成30年4月1日～令和2年3月31日(2年)	③
勝野 良治	有限会社 寿司の次郎長 店主	平成30年4月1日～令和2年3月31日(2年)	③
内野 浩一郎	うちの珈琲研究所 所長	平成30年4月1日～令和2年3月31日(2年)	③
四丸 太	キャトル オーナーシェフ	平成30年4月1日～令和2年3月31日(2年)	③

※委員の種別の欄には、委員の種別のうち以下の①～③のいずれに該当するか記載すること。

- ①業界全体の動向や地域の産業振興に関する知見を有する業界団体、職能団体、地方公共団体等の役職員(1企業や関係施設の役職員は該当しません。)
- ②学会や学術機関等の有識者
- ③実務に関する知識、技術、技能について知見を有する企業や関係施設の役職員

(4)教育課程編成委員会等の年間開催数及び開催時期  
年間開催数2回 開催時期 6月と2～3月

(開催日時)  
第1回 平成30年6月14日 14:45～16:45  
第2回 平成31年3月11日 15:30～16:30

(5)教育課程の編成への教育課程編成委員会等の意見の活用状況  
業界の求める人材と現在の学生の希望が異なってきている。これからの時代はホスピタリティをしっかりと身に付けた学生が必要となるので授業内でもおもてなしをしっかりと身に付けさせていった方がいい。カリキュラムに関しても時代に合わせて年々変えていく必要があるのではとの意見をもらい定期的に見直しをかけております。製菓製パン科においては販売実習の授業内での販売や接客に関してのレベルアップが必要とのことで授業内で製造だけでなく接客販売の授業を取り入れてまいりました。

2.「企業等と連携して、実習、実技、実験又は演習(以下「実習・演習等」という。)の授業を行っていること。」関係

(1)実習・演習等における企業等との連携に関する基本方針  
本校は卒業後の業界に直結した職業人教育を行う学校であり、各業界と連携し、共にスペシャリストを育成することを目的としている。業界研修では、現場の実習で実践力を身につけ評価を行い、就職にもつながっている

(2)実習・演習等における企業等との連携内容  
企業プロジェクトでは企業様から直接課題を頂き商品を開発プレゼンテーションを行い商品化を目指したり、販売実習においては実際にお店で出されている商品を製造販売する際にどのように行うのかを指導を受けながら実践しております。またそれぞれの授業で作った商品の評価をその場で受けてその評価を総合したものが成績にも反映されております。

(3)具体的な連携の例※科目数については代表的な5科目について記載。

科目名	科目概要	連携企業等
業界研修	業界現場で、実際の仕事を体験し、自己研鑽を行います。	フランス菓子16区/キャトル/有限会社銀のスプーン / ベルエキブ/有限会社一柳 其他10社
販売実習Ⅰ	業界の先生から個人店で実際に販売や提供されている商品作りを学ぶことが出来る	ベルエキブ ニコシヨコラティエ
販売実習Ⅱ	業界の先生からホテルや企業で実際に販売や提供されている商品作りを学ぶことが出来る	ホテル日航福岡 グランドハイアット ヒルトン福岡
企業プロジェクト	業界から課題を頂きその趣旨に沿った商品を開発プレゼンテーションを行います	ホテル日航福岡 ヒルトン福岡
コンテストゼミ	業界で活躍する講師の方々から世界大会や全国の大会で入賞するために必要な技術知識気構えを学ぶ授業です	クラブハリエ 森永乳業

3.「企業等と連携して、教員に対し、専攻分野における実務に関する研修を組織的に行っていること。」関係

(1)推薦学科の教員に対する研修・研究(以下「研修等」という。)の基本方針

学園の定める教員研修規程において、教員の授業内容・教育技法の改善並びにクラス運営方法の向上、マネジメント能力を含む指導力の向上を研修の目的と定めています。

また毎年中途退学防止に向けた「学生一人ひとり」見ていく視点を、講師会で企業の方と共有する研修を行っています。新入職者研修とFDマイクロレベル監修は初年度の職員 2年目3年目はカウンセリング研修1次・2次を受講 4年目以降はFDミドルレベル研修 さらにFDマクロレベル研修と段階を置いて計画的に研修を受講することになっております。

(2) 研修等の実績

① 専攻分野における実務に関する研修等

福岡県洋菓子協会やグループ校主催による技術研修を行っている。講師には企業の方が来られ技術や知識のレベルアップを図っている。毎年7月にはグループ校において指導方法の勉強会などの技術者研修会を開催

② 指導力の修得・向上のための研修等

指導力の向上の為に外部機関JESC教育科学研究所主催の研修を受講 ミクロ研修は初年度勤務者4日間 ミドル研修は5年以上の勤務者2日間 マクロは管理職1日の内容期間で受けるようになっており年間を通じて研修計画を立てている。FDマクロ研修 9月 ミクロ研修 4月、10月

(3) 研修等の計画

① 専攻分野における実務に関する研修等

年間を通じて研修計画を立てている。年に2回の洋菓子協会主催の技術講習会受講(4月から10月の期間)滋慶学園グループ校の技術者による年1回(7月)の技術研修会

② 指導力の修得・向上のための研修等

年間を通じて外部機関JESC教育科学研究所と共に研修計画を立てている。FDマイクロ研修年2回4月・10月 FDミドル年1回6月 FDマクロ年1回9月 カウンセリング研修1次・2次 9月受講対象者は3-(1)を参照

4. 「学校教育法施行規則第189条において準用する同規則第67条に定める評価を行い、その結果を公表していること。また、評価を行うに当たっては、当該専修学校の関係者として企業等の役員又は職員を参画させていること。」関係

(1) 学校関係者評価の基本方針

卒業生、保護者代表、近隣関係者、高校関係者ともに、業界関係者により構成される学校関係者評価委員会を組織し、この委員会が、学校教職員が行った自己点検・自己評価の内容を審議・評価することを通し、学校運営の改善に生かすことを方針とします。

(2) 「専修学校における学校評価ガイドライン」の項目との対応

ガイドラインの評価項目	学校が設定する評価項目
(1) 教育理念・目標	教育理念・目的・育成人材像
(2) 学校運営	学校運営
(3) 教育活動	教育活動
(4) 学修成果	教育成果
(5) 学生支援	学生支援
(6) 教育環境	教育環境
(7) 学生の受入れ募集	学生募集と受け入れ
(8) 財務	財務
(9) 法令等の遵守	法令等の遵守
(10) 社会貢献・地域貢献	社会貢献
(11) 国際交流	

※(10)及び(11)については任意記載。

(3) 学校関係者評価結果の活用状況

平成28年度は「人間教育」「実学教育」について重点的に話し合いが行われ、職業観を意識した指導の実践方法として各委員よりアドバイスを頂く。製菓製パン科では授業開始時の挨拶の徹底や清掃などが不十分であるとの意見があった為教務会議にて協議を行い次年度に改善をすることにしていきます。

(4) 学校関係者評価委員会の全委員の名簿

平成31年3月31日現在

名前	所属	任期	種別
谷内 雅夫	博多食文化の会 会員 田テルオークラ福岡総料理長	平成30年4月1日～平成30年3月31日	企業等委員
金子 久幸	有限会社 ベル・エキブ オーナー	平成30年4月1日～平成30年3月31日	企業等委員
勝野 良治	有限会社 寿司の次郎長 店主	平成30年4月1日～平成30年3月31日	企業等委員
内野 浩一郎	うちの珈琲研究所 所長	平成30年4月1日～平成30年3月31日	企業等委員
田中 眞太郎	福岡県立香椎高等学校	平成30年4月1日～平成30年3月31日	高等学校校長
大島 弘枝	福岡市大浜公民館	平成30年4月1日～平成30年3月31日	地域代表
有浦 夕貴	ホテル日航福岡	平成30年4月1日～平成30年3月31日	卒業生代表
石井 深晴	保護者代表	平成30年4月1日～平成30年3月31日	保護者代表

※委員の種別の欄には、学校関係者評価委員として選出された理由となる属性を記載すること。

(例) 企業等委員、PTA、卒業生等

(5) 学校関係者評価結果の公表方法・公表時期

ホームページ・広報誌等の刊行物・その他( ) 毎年9月更新

学校の公式ホームページ内で公表 URL: <http://www.f-culinary.ac.jp>

5. 「企業等との連携及び協力の推進に資するため、企業等に対し、当該専修学校の教育活動その他の学校運営の状況に関する情報を提供していること。」関係

(1) 企業等の学校関係者に対する情報提供の基本方針

学校で毎年定める事業計画の実行方針において提起された目標(カリキュラムのイノベーション、中途退学防止、卒業後の離職防止等)を具体化するため、企業等からのヒアリングを行い、業界の動きを踏まえた実行計画を作成しています。企業等への具体的な情報提供方法としては、業界関係者である兼任教員と教職員の間で講師会議を開催し、授業科目編成や各科目のシラバスなどについて審議を行い、そこで出された意見を実効案へと反映させています。また、学外実習(インターンシップ)においても、原則として実習先に教員が訪問し、学生の実習状況の確認のみならず、学校・学科運営に対する意見を聞き取り、意見を集約するようにしています。

(2) 「専門学校における情報提供等への取組に関するガイドライン」の項目との対応

ガイドラインの項目	学校が設定する項目
(1) 学校の概要、目標及び計画	校長名、所在地、連絡先、学校の沿革、建学の理念、学校安全関連、保健対策

(2)各学科等の教育	受入方針、定員、在校生数、卒業生数、教科課程、学年暦、シフハス、卒業・進級判断規定、卒業と同時に取得する称号、検定資格など、卒業生数、卒業後の進路(主な就職先)
(3)教職員	教職員数、学校組織図、教員の実績
(4)キャリア教育・実践的職業教育	キャリア教育への取り組み、就職支援の取り組み
(5)様々な教育活動・教育環境	施設紹介、海外実学研修
(6)学生の生活支援	中途退学防止の取り組み(中途退学状況、進路変更委員会)、学生健康管理(慶生会紹介)、カウンセリング研修
(7)学生納付金・修学支援	学費一覧、活用できる奨学金、教育ローン案内など
(8)学校の財務	学校財務
(9)学校評価	学校関係者評価委員会
(10)国際連携の状況	留学生支援、留学生受け入れ状況、海外との交流
(11)その他	
※(10)及び(11)については任意記載。	
(3)情報提供方法	
学校の公式ホームページ内で公表 URL: <a href="http://www.f-culinary.ac.jp">http://www.f-culinary.ac.jp</a>	

## 授業科目等の概要

(衛生専門課程カフェ総合学科) 平成30年度															
分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業 時 数	単 位 数	授業方法			場所		教員		企業等との連携
必 修	選 択 必 修	自 由 選 択						講 義	演 習	実 験 ・ 実 習 ・ 実 技	校 内	校 外	専 任	兼 任	
○			ホスピタリティ就職講座	接客マナー等を学び、おもてなしの心を身につけます。また、就職活動に必要なスキル、コミュニケーション力を身につけます。	1後2前	60	4	○			○			○	
○			ホームルーム	イベントに向けての話し合いなど、クラス内のコミュニケーション授業です。	1・2通	120	8	○			○		○		
○			海外実学研修	国際性を身につけるための実践教育です。	1後	60	4		○			○	○		
○			進級制作	1年間の集大成となる作品制作、ショップ出店、ディスプレイ展示などを行います。	1後	30	2		○		○		○		
○			卒業制作	2年間の集大成となる作品制作、ショップ出店、ディスプレイ展示などを行います。	2後	30	2		○		○		○		
○			ディスプレイ	店内のインテリア、ディスプレイなどのノウハウと技術を身につけます。	1通	60	4		○		○			○	
○			接客サービス実習	接客サービスをトータル的に基礎から身に付けます。	2前	30	2			○	○			○	
○			企業プロジェクト	企業様からメニュー開発の課題をいただき、一人ひとりが独自の商品を作り上げます。	1後2後	120	8			○	○				○
○			業界研修	業界現場で実際の仕事を体験し自己研鑽を行います。	随時	15	1		○			○			○
○			調理・製菓理論・衛生学	パティシエの原材料知識や食品衛生の基本、食品取り扱いに関する知識、食材の安全な保管などの知識を学びます。	1通	60	4	○			○			○	
○			食品学・栄養学	様々な料理の歴史や文化、食品に関する成分や特性を学び、豊かな食生活を築くための基本的な知識を習得します。	2後	30	2	○			○			○	

○		調理基礎	調理技術の基礎技術を通して、衛生面、素材の知識が身につくように学びます。	1通	120	8				○	○	○		
○		製菓実習	製菓技術の基礎技術を通して、衛生面、素材の知識が身につくように学びます。	1通	120	8				○	○	○		
○		カフェ販売実習1	お店で出す商品の企画から仕入れ、ディスプレイ、収支までイベントを通じて実践的に学びます。	2通	120	8				○	○	○	○	
○		カフェ販売実習2	お店で出す商品の企画から仕入れ、ディスプレイ、収支までイベントを通じて実践的に学びます。	2通	120	8				○	○	○	○	
○		コーヒー実習	技術の基礎技術を通して、衛生面、素材の知識が身につくように学びます。	1通	60	4				○	○	○		
○		バリスタ実習1	製菓技術の基礎技術を通して、衛生面、素材の知識が身につくように学びます。	2通	120	8				○	○	○		
○		バリスタ実習2シアトル	製菓技術の基礎技術を通して、衛生面、素材の知識が身につくように学びます。	2通	120	8				○	○	○		
○		バリスタ実習2イタリア	製菓技術の基礎技術を通して、衛生面、素材の知識が身につくように学びます。	2通	120	8				○	○	○		
	○	ビバレッジ実習	コーヒー、ソフトドリンク、アレンジドリンク、紅茶等を学びます。	1・2通	30	2				○	○	○		
	○	アルコール実習	アルコールドリンクの知識や技術等を学びます。	1・2通	30	2				○	○	○		
	○	コンピュータ演習	コンピュータの基本的な使い方を学びます。	1・2通	30	2				○	○	○		
	○	コーヒー総合実習	1年生で学んだコーヒーの知識をより深め、広げて行きます。	2後	30	2				○	○	○		
	○	ベーシックデザイン	デッサンの基礎と立体構成を考えるためのデザイン力を身につけます。	1前 2通	30	2				○	○	○		
	○	バリスタ実習3	フランス語の基礎を学びます。	1前	30	2				○	○	○		
	○	英会話	海外実学研修で外国人とコミュニケーションを図るために必要な英語を学びます。	1通	30	2				○	○	○		

		○	フード カラーコー ディネート	テーブル配置を考え、色彩心理の基本、効果的な色の使い方を身につけます。	2後	30	2		○	○	○							
		○	ショップマネ ジメント	経営に必要なマネジメント、計数管理のノウハウを身につけます。	2通	30	2	○		○								
		○	コンテストゼ ミ	コンテストに必要な高度な技術をマスターします。	1後 2通	180	12			○	○			○				
		○	ビバレッジ実 習	コーヒー、ソフトドリンク、アレンジドリンク、紅茶等を学びます。	1・ 2通	30	2			○	○			○				
		○	特別講義&見 学	業界で活躍中のプロの方々から豊富な知識・情報を頂く特別授業や各種施設の見学を行います。	随時	60	4			○	○							○
		○	調理基礎	製菓技術の基礎技術を通して、衛生面、素材の知識が身に付くように学びます。	2前	30	2			○	○			○				
		○	製菓基礎	製菓技術の基礎技術を通して、衛生面、素材の知識が身に付くように学びます。	2前	30	2			○	○			○				
		○	製パン実習	実習における基礎的な作業、技術を習得します。	2前	60	4			○	○			○				
		○	フードコー ディネート	調理・栄養計算・テーブルコーディネートなど、食を基軸とするあらゆる分野を総合的な視点でコーディネートする力を身につけます	2後	30	2			○	○	○		○				
		○	コンピュータ 演習	コンピュータの基本的な使い方を学びます。	1・ 2後	30	2			○				○				○
		○	PCデザイン	コンピュータの基本的な使い方を学びます。	1・ 2後	30	2			○				○				○
		○	テーブル カラーコー ディネート	テーブル配置を考え、色彩心理の基本、効果的な色の使い方を身につけます。	1後	30	2			○				○				○
合計				37科目	1860単位時間(124単位)													

卒業要件及び履修方法

授業期間等

1学年の学期区分	前期・後期
1学期の授業期間	15週

(留意事項)

- 一の授業科目について、講義、演習、実験、実習又は実技のうち二以上の方法の併用により行う場合については、主たる方法について○を付し、その他の方法について△を付すこと。
- 企業等との連携については、実施要項の3(3)の要件に該当する授業科目について○を付すこと。

職業実践専門課程の基本情報について

学校名	設置認可年月日	校長名	所在地																			
福岡キャリアナー製菓調理専門学校	平成20年9月18日	上川 明	〒812-0032 福岡県福岡市博多区石城町20-9 (電話) 092-262-4488																			
設置者名	設立認可年月日	代表者名	所在地																			
滋慶文化学園	平成8年3月13日	覚野 博夫	〒812-0032 福岡県福岡市博多区石城町21-2 (電話) 092-263-6747																			
分野	認定課程名	認定学科名	専門士	高度専門士																		
衛生	衛生専門課程	カフェ総合科(カフェベーカリーコース)	平成22年文部科学省 告示第152号	-																		
学科の目的	カフェフードやドリンクなどの製造販売を行う人材を養成します。また、高い技術力、オリジナル商品を作るクリエイティブ力、ビジネス感覚をバランスよく身につけた人材を養成します。																					
認定年月日	平成26年3月31日																					
修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な 総授業時数又は総単位数	講義	演習	実習	実験																
2年	昼間	1860時間	330時間	525時間	1380時間	単位時間																
生徒総定員	生徒実員	留学生数(生徒実員の内)	専任教員数	兼任教員数	総教員数																	
80	72人(内4人)	2人	2人	12人	14人																	
学期制度	■前期:4月8日～9月15日 ■後期:10月1日～2月13日		成績評価	■成績表: 有 ■成績評価の基準・方法 学期末にテストの成績や出席率などで総合判断とする																		
長期休み	■学年始:4月8日 ■夏季:7月24日～8月19日 ■冬季:12月21日～1月13日 ■学年末:2月26日～3月31日		卒業・進級条件	各年次出席率66.7%以上57単位以上を取得したものは進級、卒業する事ができる。上記に該当しないものは卒業、進級判定会議により最終決定する																		
学修支援等	■クラス担任制: 有 ■個別相談・指導等の対応 本人へ継続して連絡すると共に保護者にも連絡をして状況の確認・把握を行い、家庭と学校で連携して対応をする。連絡が取れない状況となれば家庭訪問を行い、来校できる状況であれば日時を指定し保護者と共に学校へ来てもらい三者面談をし、今後の動向について話し合いを行う。		課外活動	■課外活動の種類 校友会(生徒会)活動【学園祭その他イベントの企画運営】地域ボランティア活動 ■サークル活動: 有																		
就職等の状況※2	■主な就職先・業界等(平成29年度卒業生) レ・プレzzo、ザ・シティベーカリー、株式会社ゆう工房等 ■就職指導内容 年2回の個人面談 就職出陣式の開催 合同企業説明会の開催 インターンシップ参加促進 ■卒業生数: 1人 ■就職希望者数: 2人 ■就職者数: 1人 ■就職率: 50% ■卒業生に占める就職者の割合: 100% ■その他 (平成30年度卒業生に関する 令和1年5月1日時点の情報)		主な学修成果(資格・検定等)※3	■国家資格・検定/その他・民間検定等 (平成30年度卒業生に関する平成29年5月1日時点の情報) <table border="1"> <tr> <th>資格・検定名</th> <th>種</th> <th>受験者数</th> <th>合格者数</th> </tr> <tr> <td>JESCコミュニケーションスキルアップ検定</td> <td>③</td> <td>2人</td> <td>2人</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> ※複数の欄には、各資格・検定について、以下の①～③のいずれかに該当するか記載する。 ①国家資格・検定のうち、修了と同時に取得可能なもの ②国家資格・検定のうち、修了と同時に受験資格を取得するもの ③その他(民間検定等) ■自由記述欄 (例)認定学科の学生・卒業生のコンテスト入賞状況等			資格・検定名	種	受験者数	合格者数	JESCコミュニケーションスキルアップ検定	③	2人	2人								
資格・検定名	種	受験者数	合格者数																			
JESCコミュニケーションスキルアップ検定	③	2人	2人																			
中途退学の現状	■中途退学者 7名 平成30年4月1日時点において、在学者72名(平成29年4月1日入学者を含む) 平成31年3月31日時点において、在学者65名(平成31年3月31日卒業生を含む) ■中途退学の原因 (例)学校生活への不適合・経済的問題・進路変更等 学校生活への不適合・経済的問題・目的意識低下 ■中退防止・中退者支援のための取組 (例)カウンセリング・再入学・転科の実施等 学生・保護者様とのメール交換・保護者様面談会・SSC案内・個別カウンセリング・マネー教育の実施等		■中退率 9.7%																			
経済的支援制度	■学校独自の奨学金・授業料等減免制度: 有・無 ※有の場合、制度内容を記入 ■専門実践教育訓練給付: 給付対象・非給付対象 ※給付対象の場合、前年度の給付実績者数について任意記載																					
第三者による学校評価	■民間の評価機関等から第三者評価: 有・無 ※有の場合、例えば以下について任意記載 (評価団体、受審年月、評価結果又は評価結果を掲載したホームページURL)																					
当該学科のホームページURL	<a href="http://www.f-culinary.ac.jp">http://www.f-culinary.ac.jp</a>																					

(留意事項)

1. 公表年月日(※1)

最新の公表年月日です。なお、認定課程においては、認定後1か月以内に本様式を公表するとともに、認定の翌年度以降、毎年度7月末を基準日として最新の情報を反映した内容を公表することが求められています。初回認定の場合は、認定を受けた告示日以降の日付を記入し、前回公表年月日は空欄としてください

2. 就職等の状況(※2)

「就職率」及び「卒業生に占める就職者の割合」については、「文部科学省における専修学校卒業生の「就職率」の取扱いについて(通知)(25文科第596号)」に留意し、それぞれ、「大学・短期大学・高等専門学校及び専修学校卒業予定者の就職(内定)状況調査」又は「学校基本調査」における定義に従います。

(1)「大学・短期大学・高等専門学校及び専修学校卒業予定者の就職(内定)状況調査」における「就職率」の定義について

①「就職率」については、就職希望者に占める就職者の割合をいい、調査時点における就職者数を就職希望者から除いたものをいいます。

②「就職希望者」とは、卒業年度中に就職活動を行い、大学等卒業後速やかに就職することを希望する者をいい、卒業後の進路として「進学」「自営業」「家事手伝い」「留年」「資格取得」などを希望する者を含みません。

③「就職者」とは、正規の職員(雇用契約期間が1年以上の非正規の職員として就職した者を含む)として最終的に就職した者(企業等から採用通知などが出された者)をいいます。

※「就職(内定)状況調査」における調査対象の抽出のための母集団となる学生等は、卒業年次に在籍している学生等とします。ただし、卒業の見込みのない者、休学中の者、留学生、聴講生、科目履修生、研究生及び夜間部、医学科、歯学科、獣医学科、大学院、専攻科、別科の学生は除きます。

(2)「学校基本調査」における「卒業生に占める就職者の割合」の定義について

①「卒業生に占める就職者の割合」とは、全卒業生数のうち就職者総数の占める割合をいいます。

②「就職」とは給料、賃金、報酬その他経常的な収入を得る仕事に就くことをいいます。自家・自営業に就いた者は含めるが、家事手伝い、臨時的な仕事に就いた者は就職者とはしません(就職したが就職先が不明の者は就職者として扱う)。

(3)上記のほか、「就職者数(関連分野)」は、「学校基本調査」における「関連分野に就職した者」を記載します。また、「その他」の欄は、関連分野へのアルバイト者数や進

3. 主な学修成果(※3)

認定課程において取得目標とする資格・検定等状況について記載するものです。①国家資格・検定のうち、修了と同時に取得可能なもの、②国家資格・検定のうち、修了と同時に受験資格を取得するもの、③その他(民間検定等)の種類区分とともに、名称、受験者数及び合格者数を記載します。自由記述欄には、各認定学科における代表的な学修成果(例えば、認定学科の学生・卒業生のコンテスト入賞状況等)について記載します。

1.「専攻分野に関する企業、団体等(以下「企業等」という。)との連携体制を確保して、授業科目の開設その他の教育課程の編成を行っていること。」関係

(1)教育課程の編成(授業科目の開設や授業内容・方法の改善・工夫等を含む。)における企業等との連携に関する基本方針

企業との連携について、従来、学科の養成目的(学生が卒業時に身につけておくべき能力)実現にむけ、学校の教職員と業界で活躍している兼任教員(非常勤講師)が、講師授業科目の開設や授業内容の改善を図るため、年2回の講師会議を開催しています。  
このたび、新たに設置する教育課程編成委員会においては、非常勤講師以外の業界関係者からの意見も、より詳細に教育内容に反映させることを目的とします。

(2)教育課程編成委員会等の位置付け  
教育課程編成委員会は理事会のもとに設置され、委員会の適切な運営は理事長が担保することになっています。また、学校運営においては教務組織規則において、「委員会での審議を通じて示された企業等の要請その他の情報、意見を十分に生かし、実践的かつ専門的な職業教育を実施するにふさわしい教育課程の編成に努める」ことが明記され、この定めに従い、委員会を運営します。委員会での審議事項は教務会議において競技され次年度のカリキュラムに取り入れていきます。

(3)教育課程編成委員会等の全委員の名簿 平成31年3月31日現在

名前	所属	任期	種別
谷内 雅夫	博多食文化の会 会員 ホテルオークラ福岡総料理長	平成30年4月1日～令和2年3月31日(2年)	①
金子 久幸	有限会社 ベル・エキブ オーナー	平成30年4月1日～令和2年3月31日(2年)	③
勝野 良治	有限会社 寿司の次郎長 店主	平成30年4月1日～令和2年3月31日(2年)	③
内野 浩一郎	うちの珈琲研究所 所長	平成30年4月1日～令和2年3月31日(2年)	③
四丸 太	キャトル オーナーシェフ	平成30年4月1日～令和2年3月31日(2年)	③

※委員の種別の欄には、委員の種別のうち以下の①～③のいずれに該当するか記載すること。

- ①業界全体の動向や地域の産業振興に関する知見を有する業界団体、職能団体、地方公共団体等の役職員(1企業や関係施設の役職員は該当しません。)
- ②学会や学術機関等の有識者
- ③実務に関する知識、技術、技能について知見を有する企業や関係施設の役職員

(4)教育課程編成委員会等の年間開催数及び開催時期  
年間開催数2回 開催時期 6月と2～3月

(開催日時)  
第1回 平成30年6月14日 14:45～16:45  
第2回 平成31年3月11日 15:30～16:30

(5)教育課程の編成への教育課程編成委員会等の意見の活用状況  
業界の求める人材と現在の学生の希望が異なってきている。これからの時代はホスピタリティをしっかりと身に付けた学生が必要となるので授業内でもおもてなしをしっかりと身に付けさせていった方がいい。カリキュラムに関しても時代に合わせて年々変えていく必要があるのではとの意見をもらい定期的に見直しをかけております。製菓製パン科においては販売実習の授業内での販売や接客に関してのレベルアップが必要とのことで授業内で製造だけでなく接客販売の授業を取り入れてまいりました。

2.「企業等と連携して、実習、実技、実験又は演習(以下「実習・演習等」という。)の授業を行っていること。」関係

(1)実習・演習等における企業等との連携に関する基本方針  
本校は卒業後の業界に直結した職業人教育を行う学校であり、各業界と連携し、共にスペシャリストを育成することを目的としている。業界研修では、現場の実習で実践力を身につけ評価を行い、就職にもつながっている

(2)実習・演習等における企業等との連携内容  
企業プロジェクトでは企業様から直接課題を頂き商品を開発プレゼンテーションを行い商品化を目指したり、販売実習においては実際にお店で出されている商品を製造販売する際にどのように行うのかを指導を受けながら実践しております。またそれぞれの授業で作った商品の評価をその場で受けてその評価を総合したものが成績にも反映されております。

(3)具体的な連携の例※科目数については代表的な5科目について記載。

科目名	科目概要	連携企業等
業界研修	業界現場で、実際の仕事を体験し、自己研鑽を行います。	フランス菓子16区/キャトル/有限会社銀のスプーン / ベルエキブ/有限会社一柳 / その他10社
販売実習Ⅰ	業界の先生から個人店で実際に販売や提供されている商品作りを学ぶことができる	ベルエキブ ニコシヨコラティエ
販売実習Ⅱ	業界の先生からホテルや企業で実際に販売や提供されている商品作りを学ぶことができる	ホテル日航福岡 グランドハイアット ヒルトン福岡
企業プロジェクト	業界から課題を頂きその趣旨に沿った商品を開発プレゼンテーションを行います	ホテル日航福岡 ヒルトン福岡
コンテストゼミ	業界で活躍する講師の方々から世界大会や全国の大会で入賞するために必要な技術知識気構えを学ぶ授業です	クラブハリエ 森永乳業

3.「企業等と連携して、教員に対し、専攻分野における実務に関する研修を組織的に行っていること。」関係

(1)推薦学科の教員に対する研修・研究(以下「研修等」という。)の基本方針



学園の定める教員研修規程において、教員の授業内容・教育技法の改善並びにクラス運営方法の向上、マネジメント能力を含む指導力の向上を研修の目的と定めています。

また毎年中途退学防止に向けた「学生一人ひとり」見ていく視点を、講師会で企業の方と共有する研修を行っています。新入職者研修とFDマイクロレベル監修は初年度の職員 2年目3年目はカウンセリング研修1次・2次を受講 4年目以降はFDミドルレベル研修 さらにFDマクロレベル研修と段階を置いて計画的に研修を受講することになっております。

(2) 研修等の実績

① 専攻分野における実務に関する研修等

福岡県洋菓子協会やグループ校主催による技術研修を行っている。講師には企業の方が来られ技術や知識のレベルアップを図っている。毎年7月にはグループ校において指導方法の勉強会などの技術者研修会を開催

② 指導力の修得・向上のための研修等

指導力の向上の為に外部機関JESC教育科学研究所主催の研修を受講 ミクロ研修は初年度勤務者4日間 ミドル研修は5年以上の勤務者2日間 マクロは管理職1日の内容期間で受けるようになっており年間を通じて研修計画を立てている。FDマクロ研修 9月 ミクロ研修 4月、10月

(3) 研修等の計画

① 専攻分野における実務に関する研修等

年間を通じて研修計画を立てている。年に2回の洋菓子協会主催の技術講習会受講(4月から10月の期間)滋慶学園グループ校の技術者による年1回(7月)の技術研修会

② 指導力の修得・向上のための研修等

年間を通じて外部機関JESC教育科学研究所と共に研修計画を立てている。FDマイクロ研修年2回4月・10月 FDミドル年1回6月 FDマクロ年1回9月 カウンセリング研修1次・2次 9月受講対象者は3-(1)を参照

4. 「学校教育法施行規則第189条において準用する同規則第67条に定める評価を行い、その結果を公表していること。また、評価を行うに当たっては、当該専修学校の関係者として企業等の役員又は職員を参画させていること。」関係

(1) 学校関係者評価の基本方針

卒業生、保護者代表、近隣関係者、高校関係者ともに、業界関係者により構成される学校関係者評価委員会を組織し、この委員会が、学校教職員が行った自己点検・自己評価の内容を審議・評価することを通し、学校運営の改善に生かすことを方針とします。

(2) 「専修学校における学校評価ガイドライン」の項目との対応

ガイドラインの評価項目	学校が設定する評価項目
(1) 教育理念・目標	教育理念・目的・育成人材像
(2) 学校運営	学校運営
(3) 教育活動	教育活動
(4) 学修成果	教育成果
(5) 学生支援	学生支援
(6) 教育環境	教育環境
(7) 学生の受入れ募集	学生募集と受け入れ
(8) 財務	財務
(9) 法令等の遵守	法令等の遵守
(10) 社会貢献・地域貢献	社会貢献
(11) 国際交流	

※(10)及び(11)については任意記載。

(3) 学校関係者評価結果の活用状況

平成28年度は「人間教育」「実学教育」について重点的に話し合が行われ、職業観を意識した指導の実践方法として各委員よりアドバイスを頂く。製菓製パン科では授業開始時の挨拶の徹底や清掃などが不十分であるとの意見があった為教務会議にて協議を行い次年度に改善をすることにしてあります。

(4) 学校関係者評価委員会の全委員の名簿

平成31年3月31日現在

名前	所属	任期	種別
谷内 雅夫	博多食文化の会 会員 田テラオークラ福岡総料理長	平成30年4月1日～ 平成30年3月31日	企業等委員
金子 久幸	有限会社 ベル・エキブ オーナー	平成30年4月1日～ 平成30年3月31日	企業等委員
勝野 良治	有限会社 寿司の次郎長 店主	平成30年4月1日～ 平成30年3月31日	企業等委員
内野 浩一郎	うちの珈琲研究所 所長	平成30年4月1日～ 平成30年3月31日	企業等委員
田中 眞太郎	福岡県立香椎高等学校	平成30年4月1日～ 平成30年3月31日	高等学校校長
大島 弘枝	福岡市大浜公民館	平成30年4月1日～ 平成30年3月31日	地域代表
有浦 夕貴	ホテル日航福岡	平成30年4月1日～ 平成30年3月31日	卒業生代表
石井 深晴	保護者代表	平成30年4月1日～ 平成30年3月31日	保護者代表

※委員の種別の欄には、学校関係者評価委員として選出された理由となる属性を記載すること。

(例) 企業等委員、PTA、卒業生等

(5) 学校関係者評価結果の公表方法・公表時期

ホームページ・広報誌等の刊行物・その他( ) 毎年9月更新

学校の公式ホームページ内で公表 URL:<http://www.f-culinary.ac.jp>

5. 「企業等との連携及び協力の推進に資するため、企業等に対し、当該専修学校の教育活動その他の学校運営の状況に関する情報を提供していること。」関係

(1) 企業等の学校関係者に対する情報提供の基本方針

学校で毎年定める事業計画の実行方針において提起された目標(カリキュラムのイノベーション、中途退学防止、卒業後の離職防止等)を具体化するため、企業等からのヒアリングを行い、業界の動きを踏まえた実行計画を作成しています。企業等への具体的な情報提供方法としては、業界関係者である兼任教員と教職員の間で講師会議を開催し、授業科目編成や各科目のシラバスなどについて審議を行い、そこで出された意見を実効案へと反映させています。また、学外実習(インターンシップ)においても、原則として実習先に教員が訪問し、学生の実習状況の確認のみならず、学校・学科運営に対する意見を聞き取り、意見を集約するようにしています。

(2) 「専門学校における情報提供等への取組に関するガイドライン」の項目との対応

ガイドラインの項目	学校が設定する項目
(1) 学校の概要、目標及び計画	校長名、所在地、連絡先、学校の沿革、建学の理念、学校安全関連、保健対策

(2)各学科等の教育

受入方針、定員、在校生数、卒業生数、教科課程、学年暦、シフハ  
ス、  
卒業・進級判断規定、卒業と同時に取得する称号、検定資格など、卒  
業生数、卒業後の進路(主な就職先)

(3)教職員	教職員数、学校組織図、教員の実績
(4)キャリア教育・実践的職業教育	キャリア教育への取り組み、就職支援の取り組み
(5)様々な教育活動・教育環境	施設紹介、海外実学研修
(6)学生の生活支援	中途退学防止の取り組み(中途退学状況、進路変更委員会)、 学生健康管理(慶生会紹介)、カウンセリング研修
(7)学生納付金・修学支援	学費一覧、活用できる奨学金、教育ローン案内など
(8)学校の財務	学校財務
(9)学校評価	学校関係者評価委員会
(10)国際連携の状況	留学生支援、留学生受け入れ状況、海外との交流
(11)その他	

※(10)及び(11)については任意記載。

(3)情報提供方法  
 学校の公式ホームページ内で公表 URL:<http://www.f-culinary.ac.jp>

## 授業科目等の概要

(衛生専門課程カフェ総合学科) 平成30年度															
分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業 時 数	単 位 数	授業方法			場所		教員		企業等との連携
必 修	選 択 必 修	自 由 選 択						講 義	演 習	実 験・ 実 習・ 実 技	校 内	校 外	専 任	兼 任	
○			ホスピタリティ 就職講座	接客マナー等を学び、おもてなしの心を身につけます。また、就職活動に必要なスキル、コミュニケーション力を身につけます。	1後2 前	60	4	○			○			○	
○			ホームルーム	イベントに向けての話し合いなど、クラス内のコミュニケーション授業です。	1・ 2通	120	8	○			○		○		
○			海外実学研修	国際性を身につけるための実践教育です。	1後	60	4		○			○	○		
○			進級制作	1年間の集大成となる作品制作、ショップ出店、ディスプレイ展示などを行います。	1後	30	2		○		○		○		
○			卒業制作	2年間の集大成となる作品制作、ショップ出店、ディスプレイ展示などを行います。	2後	30	2		○		○		○		
○			ディスプレイ	店内のインテリア、ディスプレイなどのノウハウと技術を身につけます。	1通	60	4		○		○			○	
○			接客サービス 実習	接客サービスをトータル的に基礎から身に付けます。	2前	30	2			○	○			○	
○			企業プロ ジェクト	企業様からメニュー開発の課題をいただき、一人ひとりが独自の商品を作り上げます。	1後 2後	120	8			○	○				○
○			業界研修	業界現場で実際の仕事を体験し自己研鑽を行います。	随時	15	1		○			○			○
○			製パン理論・ 衛生学	パンの原材料知識や食品衛生の基本、食品取り扱いに関する知識、食材の安全な保管などの知識を学びます。	1通	60	4	○			○			○	
○			食品学・栄養 学	様々な料理の歴史や文化、食品に関する成分や特性を学び、豊かな食生活を築くための基本的な知識を習得します。	2後	30	2	○			○			○	

○		製パン基礎	調理技術の基礎技術を通して、衛生面、素材の知識が身につくように学びます。	1通	120	8					○	○						
○		製パン実習1	製菓技術の基礎技術を通して、衛生面、素材の知識が身につくように学びます。	1通	120	8					○	○						
○		製パン実習2	製菓技術の基礎技術を通して、衛生面、素材の知識が身につくように学びます。	1通	120	8					○	○						
○		カフェ販売実習1	お店で出す商品の企画から仕入れ、ディスプレイ、収支までイベントを通じて実践的に学びます。	2通	120	8					○	○						
○		カフェ販売実習2	お店で出す商品の企画から仕入れ、ディスプレイ、収支までイベントを通じて実践的に学びます。	2通	120	8					○	○						
○		コーヒー実習	技術の基礎技術を通して、衛生面、素材の知識が身につくように学びます。	1通	60	4					○	○						
○		バリスタ実習1	製菓技術の基礎技術を通して、衛生面、素材の知識が身につくように学びます。	2通	120	8					○	○						
○		バリスタ実習2シアトル	製菓技術の基礎技術を通して、衛生面、素材の知識が身につくように学びます。	2通	120	8					○	○						
○		バリスタ実習2イタリア	製菓技術の基礎技術を通して、衛生面、素材の知識が身につくように学びます。	2通	120	8					○	○						
	○	ビバレッジ実習	コーヒー、ソフトドリンク、アレンジドリンク、紅茶等を学びます。	1・2通	30	2					○	○						
	○	アルコール実習	アルコールドリンクの知識や技術等を学びます。	1・2通	30	2					○	○						
	○	コンピュータ演習	コンピュータの基本的な使い方を学びます。	1・2通	30	2					○	○						○
	○	コーヒー総合実習	1年生で学んだコーヒーの知識をより深め、広げて行きます。	2後	30	2					○	○						○
	○	ベーシックデザイン	デッサンの基礎と立体構成を考えるためのデザイン力を身につけます。	1前2通	30	2					○	○						○
○		バリスタ実習3	フランス語の基礎を学びます。	1前	30	2	○					○						○

○	英会話	海外実学研修で外国人とコミュニケーションを図るために必要な英語を学びます。	1通	30	2	○	○	○											
○	フードカラーコーディネート	テーブル配置を考え、色彩心理の基本、効果的な色の使い方を身につけます。	2後	30	2	○	○	○											
○	ショップマネジメント	経営に必要なマネジメント、計数管理のノウハウを身につけます。	2通	30	2	○	○	○											
○	コンテストゼミ	コンテストに必要な高度な技術をマスターします。	1後 2通	180	12		○	○	○	○									
○	ビバレッジ実習	コーヒー、ソフトドリンク、アレンジドリンク、紅茶等を学びます。	1・ 2通	30	2		○	○	○										
○	特別講義&見学	業界で活躍中のプロの方々から豊富な知識・情報を頂く特別授業や各種施設の見学を行います。	随時	60	4		○	○											
○	調理基礎	製菓技術の基礎技術を通して、衛生面、素材の知識が身に付くように学びます。	2前	30	2		○	○	○										
○	製菓基礎	製菓技術の基礎技術を通して、衛生面、素材の知識が身に付くように学びます。	2前	30	2		○	○	○										
○	フードコーディネート	調理・栄養計算・テーブルコーディネートなど、食を基軸とするあらゆる分野を総合的な視点でコーディネートする力を身につけます	2後	30	2		○	○	○	○									
○	コンピュータ演習	コンピュータの基本的な使い方を学びます。	1・ 2後	30	2		○	○											
○	PCデザイン	コンピュータの基本的な使い方を学びます。	1・ 2後	30	2		○	○											
○	テーブルカラーコーディネート	テーブル配置を考え、色彩心理の基本、効果的な色の使い方を身につけます。	1後	30	2		○	○											
合計		39科目		1860単位時間(124単位)															

卒業要件及び履修方法

授業期間等

1学年の学期区分	前期・後期
1学期の授業期間	15週

(留意事項)

- 一の授業科目について、講義、演習、実験、実習又は実技のうち二以上の方法の併用により行う場合については、主たる方法について○を付し、その他の方法について△を付すこと。
- 企業等との連携については、実施要項の3(3)の要件に該当する授業科目について○を付すこと。

職業実践専門課程の基本情報について

学校名	設置認可年月日	校長名	所在地																			
福岡キャリアナー製菓調理専門学校	平成20年9月18日	上川 明	〒812-0032 福岡県福岡市博多区石城町20-9 (電話) 092-262-4488																			
設置者名	設立認可年月日	代表者名	所在地																			
滋慶文化学園	平成8年3月13日	覚野 博夫	〒812-0032 福岡県福岡市博多区石城町21-2 (電話) 092-263-6747																			
分野	認定課程名	認定学科名	専門士	高度専門士																		
衛生	衛生専門課程	カフェ総合科(カフェ調理コース)	平成22年文部科学省 告示第152号	-																		
学科の目的	カフェフードやドリンクなどの製造販売を行う人材を養成します。また、高い技術力、オリジナル商品を作るクリエイティブ力、ビジネス感覚をバランスよく身につけた人材を養成します。																					
認定年月日	平成26年3月31日																					
修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な 総授業時数又は総単位数	講義	演習	実習	実験																
2年	昼間	1860時間	330時間	525時間	1380時間	単位時間																
生徒総定員	生徒実員	留学生数(生徒実員の内)	専任教員数	兼任教員数	総教員数																	
80	72人(内10人)	2人	2人	12人	14人																	
学期制度	■前期:4月8日～9月15日 ■後期:10月1日～2月13日		成績評価	■成績表: 有 ■成績評価の基準・方法 学期末にテストの成績や出席率などで総合判断とする																		
長期休み	■学年始:4月8日 ■夏季:7月24日～8月19日 ■冬季:12月21日～1月13日 ■学年末:2月26日～3月31日		卒業・進級条件	各年次出席率66.7%以上57単位以上を取得したものは進級、卒業する事ができる。上記に該当しないものは卒業、進級判定会議により最終決定する																		
学修支援等	■クラス担任制: 有 ■個別相談・指導等の対応 本人へ継続して連絡すると共に保護者にも連絡をして状況の確認・把握を行い、家庭と学校で連携して対応をする。連絡が取れない状況となれば家庭訪問を行い、来校できる状況であれば日時を指定し保護者と共に学校へ来てもらい三者面談をし、今後の動向について話し合いを行う。		課外活動	■課外活動の種類 校友会(生徒会)活動【学園祭その他イベントの企画運営】地域ボランティア活動 ■サークル活動: 有																		
就職等の状況※2	■主な就職先・業界等(平成30年度卒業生) 株式会社オスピターレ等 ■就職指導内容 年2回の個人面談 就職出陣式の開催 合同企業説明会の開催 インターンシップ参加促進 ■卒業生数: 4人 ■就職希望者数: 4人 ■就職者数: 4人 ■就職率: 100% ■卒業生に占める就職者の割合: 100% ■その他 (平成30年度卒業生に関する 令和1年5月1日時点の情報)		主な学修成果(資格・検定等)※3	■国家資格・検定/その他・民間検定等 (平成30年度卒業生に関する平成29年5月1日時点の情報) <table border="1"> <tr> <th>資格・検定名</th> <th>種</th> <th>受験者数</th> <th>合格者数</th> </tr> <tr> <td>JESCコミュニケーションスキルアップ検定</td> <td>③</td> <td>3人</td> <td>3人</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> ※複数の欄には、各資格・検定について、以下の①～③のいずれかに該当するか記載する。 ①国家資格・検定のうち、修了と同時に取得可能なもの ②国家資格・検定のうち、修了と同時に受験資格を取得するもの ③その他(民間検定等) ■自由記述欄 (例)認定学科の学生・卒業生のコンテスト入賞状況等			資格・検定名	種	受験者数	合格者数	JESCコミュニケーションスキルアップ検定	③	3人	3人								
資格・検定名	種	受験者数	合格者数																			
JESCコミュニケーションスキルアップ検定	③	3人	3人																			
中途退学の現状	■中途退学者 7名 平成30年4月1日時点において、在学者72名(平成29年4月1日入学者を含む) 平成31年3月31日時点において、在学者65名(平成31年3月31日卒業生を含む) ■中途退学の主な理由 (例)学校生活への不適合・経済的問題・進路変更等 学校生活への不適合・経済問題・目的意識低下 ■中退防止・中退者支援のための取組 (例)カウンセリング・再入学・転科の実施等 学生・保護者様とのメール交換・保護者様面談会・SSC案内・個別カウンセリング・マネー教育の実施等		■中退率 9.7%																			
経済的支援制度	■学校独自の奨学金・授業料等減免制度: 有・無 ※有の場合、制度内容を記入 ■専門実践教育訓練給付: 給付対象・非給付対象 ※給付対象の場合、前年度の給付実績者数について任意記載																					
第三者による学校評価	■民間の評価機関等から第三者評価: 有・無 ※有の場合、例えば以下について任意記載 (評価団体、受審年月、評価結果又は評価結果を掲載したホームページURL)																					
当該学科のホームページURL	<a href="http://www.f-culinary.ac.jp">http://www.f-culinary.ac.jp</a>																					

(留意事項)

1. 公表年月日(※1)

最新の公表年月日です。なお、認定課程においては、認定後1か月以内に本様式を公表するとともに、認定の翌年度以降、毎年度7月末を基準日として最新の情報を反映した内容を公表することが求められています。初回認定の場合は、認定を受けた告示日以降の日付を記入し、前回公表年月日は空欄としてください

2. 就職等の状況(※2)

「就職率」及び「卒業生に占める就職者の割合」については、「文部科学省における専修学校卒業生の「就職率」の取扱いについて(通知)(25文科第596号)」に留意し、それぞれ、「大学・短期大学・高等専門学校及び専修学校卒業予定者の就職(内定)状況調査」又は「学校基本調査」における定義に従います。

(1)「大学・短期大学・高等専門学校及び専修学校卒業予定者の就職(内定)状況調査」における「就職率」の定義について

①「就職率」については、就職希望者に占める就職者の割合をいい、調査時点における就職者数を就職希望者で除したものをいいます。

②「就職希望者」とは、卒業年度中に就職活動を行い、大学等卒業後速やかに就職することを希望する者をいい、卒業後の進路として「進学」「自営業」「家事手伝い」「留年」「資格取得」などを希望する者を含みません。

③「就職者」とは、正規の職員(雇用契約期間が1年以上の非正規の職員として就職した者を含む)として最終的に就職した者(企業等から採用通知などが出された者)をいいます。

※「就職(内定)状況調査」における調査対象の抽出のための母集団となる学生等は、卒業年次に在籍している学生等とします。ただし、卒業の見込みのない者、休学中の者、留学生、聴講生、科目履修生、研究生及び夜間部、医学科、歯学科、獣医学科、大学院、専攻科、別科の学生は除きます。

(2)「学校基本調査」における「卒業生に占める就職者の割合」の定義について

①「卒業生に占める就職者の割合」とは、全卒業生数のうち就職者総数の占める割合をいいます。

②「就職」とは給料、賃金、報酬その他経常的な収入を得る仕事に就くことをいいます。自家・自営業に就いた者は含めるが、家事手伝い、臨時的な仕事に就いた者は就職者とはしません(就職したが就職先が不明の者は就職者として扱う)。

(3)上記のほか、「就職者数(関連分野)」は、「学校基本調査」における「関連分野に就職した者」を記載します。また、「その他」の欄は、関連分野へのアルバイト者数や進

3. 主な学修成果(※3)

認定課程において取得目標とする資格・検定等状況について記載するものです。①国家資格・検定のうち、修了と同時に取得可能なもの、②国家資格・検定のうち、修了と同時に受験資格を取得するもの、③その他(民間検定等)の種類区分とともに、名称、受験者数及び合格者数を記載します。自由記述欄には、各認定学科における代表的な学修成果(例えば、認定学科の学生・卒業生のコンテスト入賞状況等)について記載します。

1.「専攻分野に関する企業、団体等(以下「企業等」という。)との連携体制を確保して、授業科目の開設その他の教育課程の編成を行っていること。」関係

(1)教育課程の編成(授業科目の開設や授業内容・方法の改善・工夫等を含む。)における企業等との連携に関する基本方針

企業との連携について、従来、学科の養成目的(学生が卒業時に身につけておくべき能力)実現にむけ、学校の教職員と業界で活躍している兼任教員(非常勤講師)が、講師授業科目の開設や授業内容の改善を図るため、年2回の講師会議を開催しています。  
このたび、新たに設置する教育課程編成委員会においては、非常勤講師以外の業界関係者からの意見も、より詳細に教育内容に反映させることを目的とします。

(2)教育課程編成委員会等の位置付け  
教育課程編成委員会は理事会のもとに設置され、委員会の適切な運営は理事長が担保することになっています。また、学校運営においては教務組織規則において、「委員会での審議を通じて示された企業等の要請その他の情報、意見を十分に生かし、実践的かつ専門的な職業教育を実施するにふさわしい教育課程の編成に努める」ことが明記され、この定めに従い、委員会を運営します。委員会での審議事項は教務会議において競技され次年度のカリキュラムに取り入れていきます。

(3)教育課程編成委員会等の全委員の名簿 平成31年3月31日現在

名前	所属	任期	種別
谷内 雅夫	博多食文化の会 会員 ホテルオークラ福岡総料理長	平成30年4月1日～令和2年3月31日(2年)	①
金子 久幸	有限会社 ベル・エキブ オーナー	平成30年4月1日～令和2年3月31日(2年)	③
勝野 良治	有限会社 寿司の次郎長 店主	平成30年4月1日～令和2年3月31日(2年)	③
内野 浩一郎	うちの珈琲研究所 所長	平成30年4月1日～令和2年3月31日(2年)	③
四丸 太	キャトル オーナーシェフ	平成30年4月1日～令和2年3月31日(2年)	③

※委員の種別の欄には、委員の種別のうち以下の①～③のいずれに該当するか記載すること。

- ①業界全体の動向や地域の産業振興に関する知見を有する業界団体、職能団体、地方公共団体等の役職員(1企業や関係施設の役職員は該当しません。)
- ②学会や学術機関等の有識者
- ③実務に関する知識、技術、技能について知見を有する企業や関係施設の役職員

(4)教育課程編成委員会等の年間開催数及び開催時期  
年間開催数2回 開催時期 6月と2～3月

(開催日時)  
第1回 平成30年6月14日 14:45～16:45  
第2回 平成31年3月11日 15:30～16:30

(5)教育課程の編成への教育課程編成委員会等の意見の活用状況  
業界の求める人材と現在の学生の希望が異なってきている。これからの時代はホスピタリティをしっかりと身に付けた学生が必要となるので授業内でもおもてなしをしっかりと身に付けさせていった方がいい。カリキュラムに関しても時代に合わせて年々変えていく必要があるのではとの意見をもらい定期的に見直しをかけております。製菓製パン科においては販売実習の授業内での販売や接客に関してのレベルアップが必要とのことで授業内で製造だけでなく接客販売の授業を取り入れてまいりました。

2.「企業等と連携して、実習、実技、実験又は演習(以下「実習・演習等」という。)の授業を行っていること。」関係

(1)実習・演習等における企業等との連携に関する基本方針  
本校は卒業後の業界に直結した職業人教育を行う学校であり、各業界と連携し、共にスペシャリストを育成することを目的としている。業界研修では、現場の実習で実践力を身につけ評価を行い、就職にもつながっている

(2)実習・演習等における企業等との連携内容  
企業プロジェクトでは企業様から直接課題を頂き商品を開発プレゼンテーションを行い商品化を目指したり、販売実習においては実際にお店で出されている商品を製造販売する際にどのように行うのかを指導を受けながら実践しております。またそれぞれの授業で作った商品の評価をその場で受けてその評価を総合したものが成績にも反映されております。

(3)具体的な連携の例※科目数については代表的な5科目について記載。

科目名	科目概要	連携企業等
業界研修	業界現場で、実際の仕事を体験し、自己研鑽を行います。	フランス菓子16区/キャトル/有限会社銀のスプーン / ベルエキブ/有限会社一柳 / その他10社
販売実習Ⅰ	業界の先生から個人店で実際に販売や提供されている商品作りを学ぶことが出来る	ベルエキブ ニコシヨコラティエ
販売実習Ⅱ	業界の先生からホテルや企業で実際に販売や提供されている商品作りを学ぶことが出来る	ホテル日航福岡 グランドハイアット ヒルトン福岡
企業プロジェクト	業界から課題を頂きその趣旨に沿った商品を開発プレゼンテーションを行います	ホテル日航福岡 ヒルトン福岡
コンテストゼミ	業界で活躍する講師の方々から世界大会や全国の大会で入賞するために必要な技術知識気構えを学ぶ授業です	クラブハリエ 森永乳業



3. 「企業等と連携して、教員に対し、専攻分野における実務に関する研修を組織的に行っていること。」関係

(1) 推薦学科の教員に対する研修・研究(以下「研修等」という。)の基本方針

学園の定める教員研修規程において、教員の授業内容・教育技法の改善並びにクラス運営方法の向上、マネジメント能力を含む指導力の向上を研修の目的と定めています。

また毎年中途退学防止に向けた「学生一人ひとり」見ていく視点を、講師会で企業の方と共有する研修を行っています。新入職者研修とFDマイクロレベル監修は初年度の職員 2年目3年目はカウンセリング研修1次・2次を受講 4年目以降はFDミドルレベル研修 さらにFDマクロレベル研修と段階を置いて計画的に研修を受講することになっております。

(2) 研修等の実績

① 専攻分野における実務に関する研修等

福岡県洋菓子協会やグループ校主催による技術研修を行っている。講師には企業の方が来られ技術や知識のレベルアップを図っている。毎年7月にはグループ校において指導方法の勉強会などの技術者研修会を開催

② 指導力の修得・向上のための研修等

指導力の向上の為に外部機関JESC教育科学研究所主催の研修を受講 ミクロ研修は初年度勤務者4日間 ミドル研修は5年以上の勤務者2日間 マクロは管理職1日の内容期間で受けるようになっており年間を通じて研修計画を立てている。FDマクロ研修 9月 ミクロ研修 4月、10月

(3) 研修等の計画

① 専攻分野における実務に関する研修等

年間を通じて研修計画を立てている。年に2回の洋菓子協会主催の技術講習会受講(4月から10月の期間)滋慶学園グループ校の技術者による年1回(7月)の技術研修会

② 指導力の修得・向上のための研修等

年間を通じて外部機関JESC教育科学研究所と共に研修計画を立てている。FDミクロ研修年2回4月・10月 FDミドル年1回6月 FDマクロ年1回9月 カウンセリング研修1次・2次 9月受講対象者は3-(1)を参照

4. 「学校教育法施行規則第189条において準用する同規則第67条に定める評価を行い、その結果を公表していること。また、評価を行うに当たっては、当該専修学校の関係者として企業等の役員又は職員を参画させていること。」関係

(1) 学校関係者評価の基本方針

卒業生、保護者代表、近隣関係者、高校関係者ともに、業界関係者により構成される学校関係者評価委員会を組織し、この委員会が、学校教職員が行った自己点検・自己評価の内容を審議・評価することを通し、学校運営の改善に生かすことを方針とします。

(2) 「専修学校における学校評価ガイドライン」の項目との対応

ガイドラインの評価項目	学校が設定する評価項目
(1) 教育理念・目標	教育理念・目的・育人人材像
(2) 学校運営	学校運営
(3) 教育活動	教育活動
(4) 学修成果	教育成果
(5) 学生支援	学生支援
(6) 教育環境	教育環境
(7) 学生の受入れ募集	学生募集と受け入れ
(8) 財務	財務
(9) 法令等の遵守	法令等の遵守
(10) 社会貢献・地域貢献	社会貢献
(11) 国際交流	

※(10)及び(11)については任意記載。

(3) 学校関係者評価結果の活用状況

平成28年度は「人間教育」「実学教育」について重点的に話し合が行われ、職業観を意識した指導の実践方法として各委員よりアドバイスを頂く。製菓製パン科では授業開始時の挨拶の徹底や清掃などが不十分であるとの意見があった為教務会議にて協議を行い次年度に改善をすることにしていきます。

(4) 学校関係者評価委員会の全委員の名簿

平成31年3月31日現在

名前	所属	任期	種別
谷内 雅夫	博多食文化の会 会員 田テロークラ福岡総料理長	平成30年4月1日～ 平成30年3月31日	企業等委員
金子 久幸	有限会社 ベル・エキブ オーナー	平成30年4月1日～ 平成30年3月31日	企業等委員
勝野 良治	有限会社 寿司の次郎長 店主	平成30年4月1日～ 平成30年3月31日	企業等委員
内野 浩一郎	うちの珈琲研究所 所長	平成30年4月1日～ 平成30年3月31日	企業等委員
田中 眞太郎	福岡県立香椎高等学校	平成30年4月1日～ 平成30年3月31日	高等学校校長
大島 弘枝	福岡市大浜公民館	平成30年4月1日～ 平成30年3月31日	地域代表
有浦 夕貴	ホテル日航福岡	平成30年4月1日～ 平成30年3月31日	卒業生代表
石井 深晴	保護者代表	平成30年4月1日～ 平成30年3月31日	保護者代表

※委員の種別の欄には、学校関係者評価委員として選出された理由となる属性を記載すること。

(例) 企業等委員、PTA、卒業生等

(5) 学校関係者評価結果の公表方法・公表時期

ホームページ・広報誌等の刊行物・その他( ) 毎年9月更新

学校の公式ホームページ内で公表 URL: <http://www.f-culinary.ac.jp>

5. 「企業等との連携及び協力の推進に資するため、企業等に対し、当該専修学校の教育活動その他の学校運営の状況に関する情報を提供していること。」関係

(1) 企業等の学校関係者に対する情報提供の基本方針

学校で毎年定める事業計画の実行方針において提起された目標(カリキュラムのイノベーション、中途退学防止、卒業後の離職防止等)を具体化するため、企業等からのヒアリングを行い、業界の動きを踏まえた実行計画を作成しています。企業等への具体的な情報提供方法としては、業界関係者である兼任教員と教職員の間で講師会議を開催し、授業科目編成や各科目のシラバスなどについて審議を行い、そこで出された意見を実効案へと反映させています。また、学外実習(インターンシップ)においても、原則として実習先に教員が訪問し、学生の実習状況の確認のみならず、学校・学科運営に対する意見を聞き取り、意見を集約するようにしています。

(2) 「専門学校における情報提供等への取組に関するガイドライン」の項目との対応

ガイドラインの項目	学校が設定する項目
-----------	-----------

(1)学校の概要、目標及び計画	校長名、所在地、連絡先、学校の沿革、建学の理念、学校安全関連、保健対策
(2)各学科等の教育	受入方針、定員、在校生数、卒業生数、教科課程、学年暦、シラバス、卒業・進級判断規定、卒業と同時に取得する称号、検定資格など、卒業生数、卒業後の進路(主な就職先)

(3)教職員	教職員数、学校組織図、教員の実績
(4)キャリア教育・実践的職業教育	キャリア教育への取り組み、就職支援の取り組み
(5)様々な教育活動・教育環境	施設紹介、海外実学研修
(6)学生の生活支援	中途退学防止の取り組み(中途退学状況、進路変更委員会)、 学生健康管理(慶生会紹介)、カウンセリング研修
(7)学生納付金・修学支援	学費一覧、活用できる奨学金、教育ローン案内など
(8)学校の財務	学校財務
(9)学校評価	学校関係者評価委員会
(10)国際連携の状況	留学生支援、留学生受け入れ状況、海外との交流
(11)その他	

※(10)及び(11)については任意記載。

(3)情報提供方法  
 学校の公式ホームページ内で公表 URL:<http://www.f-culinary.ac.jp>

## 授業科目等の概要

(衛生専門課程カフェ総合学科) 平成30年度															
分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業 時 数	単 位 数	授業方法			場所		教員		企業等との連携
必 修	選 択 必 修	自 由 選 択						講 義	演 習	実 験・ 実 習・ 実 技	校 内	校 外	専 任	兼 任	
○			ホスピタリティ就職講座	接客マナー等を学び、おもてなしの心を身につけます。また、就職活動に必要なスキル、コミュニケーション力を身につけます。	1後2前	60	4	○			○			○	
○			ホームルーム	イベントに向けての話し合いなど、クラス内のコミュニケーション授業です。	1・2通	120	8	○			○		○		
○			海外実学研修	国際性を身につけるための実践教育です。	1後	60	4		○			○	○		
○			進級制作	1年間の集大成となる作品制作、ショップ出店、ディスプレイ展示などを行います。	1後	30	2		○		○		○		
○			卒業制作	2年間の集大成となる作品制作、ショップ出店、ディスプレイ展示などを行います。	2後	30	2		○		○		○		
○			ディスプレイ	店内のインテリア、ディスプレイなどのノウハウと技術を身につけます。	1通	60	4		○		○			○	
○			接客サービス実習	接客サービスをトータル的に基礎から身に付けます。	2前	30	2			○	○			○	
○			販売実習	お店で出す商品の企画から仕入れ、ディスプレイ、収支までイベントを通じて実践的に学びます。	1・2前	120	8			○	○			○	○
○			企業プロジェクト	企業様からメニュー開発の課題をいただき、一人ひとりが独自の商品を作り上げます。	1後2後	120	8			○	○				○
○			業界研修	業界現場で実際の仕事を体験し自己研鑽を行います。	随時	15	1		○			○			○
○			調理理論・衛生学	原材料知識や食品衛生の基本、食品取り扱いに関する知識、食材の安全な保管などの知識を学びます。	1通	60	4	○			○			○	

○		食品学・栄養学	様々な料理の歴史や文化、食品に関する成分や特性を学び、豊かな食生活を築くための基本的な知識を習得します。	2後	30	2	○			○									
○		調理基礎 1	実習の中で調理理論、食文化概論に触れながら道具の取り扱い、素材の下準備についての基本技術を習得します。	1通	120	8				○	○								
○		調理基礎 2	実習の中で調理理論、食文化概論に触れながら道具の取り扱い、素材の下準備についての基本技術を習得します。	1通	120	8				○	○								
○		カフェ販売実習 1	お店で出す商品の企画から仕入れ、ディスプレイ、収支までイベントを通じて実践的に学びます。	2通	120	8				○	○								
○		カフェ販売実習 1 2	お店で出す商品の企画から仕入れ、ディスプレイ、収支までイベントを通じて実践的に学びます。	2通	120	8				○	○								
○		カフェフード	フードの基本技術から盛り付けなどの演出技術までも習得し	2通	180	12				○	○								
○		コーヒー実習	技術の基礎技術を通して、衛生面、素材の知識が身につくように学びます。	1通	60	4				○	○								
○		バリスタ実習 2 v	製菓技術の基礎技術を通して、衛生面、素材の知識が身につくように学びます。	2通	120	8				○	○								
	○	ビバレッジ実習	コーヒー、ソフトドリンク、アレンジドリンク、紅茶等を学びます。	1・2通	30	2				○	○								
	○	アルコール実習	アルコールドリンクの知識や技術等を学びます。	1・2通	30	2				○	○								
	○	コンピュータ演習	コンピュータの基本的な使い方を学びます。	1・2通	30	2				○	○								
	○	ベーシックデザイン	デッサンの基礎と立体構成を考えるためのデザイン力を身につけます。	1前 2通	30	2				○	○								
	○	バリスタ実習 3	フランス語の基礎を学びます。	1前	30	2				○	○								
	○	英会話	海外実学研修で外国人とコミュニケーションを図るために必要な英語を学びます。	1通	30	2				○	○								
	○	フードカラーコーディネート	テーブル配置を考え、色彩心理の基本、効果的な色の使い方を身につけます。	2後	30	2				○	○								

		○	ショップマネジメント	経営に必要なマネジメント、計数管理のノウハウを身につけます。	2通	30	2	○		○		○		
		○	コンテストゼミ	コンテストに必要な高度な技術をマスターします。	1後 2通	180	12			○	○	○	○	
		○	ビバレッジ実習	コーヒー、ソフトドリンク、アレンジドリンク、紅茶等を学びます。	1・ 2通	30	2			○	○	○		
		○	製パン実習	実習における基礎的な作業、技術を習得します。	2前	60	4			○	○	○		
		○	製菓実習	製菓全般に必要な基本技術、基礎知識力を習得します。	1前 2通	60	4			○	○	○		
		○	調理実習	調理全般に必要な基本技術、基礎知識力を習得します。	1前 2通	60	4			○	○	○		
		○	コンピュータ演習	コンピュータの基本的な使い方を学びます。	1・ 2後	30	2			○	○	○		
		○	PCデザイン	コンピュータの基本的な使い方を学びます。	1・ 2後	30	2			○	○	○		
合計					38科目			1860単位時間(124単位)						

卒業要件及び履修方法		授業期間等	
		1学年の学期区分	前期・後期
		1学期の授業期間	15週

(留意事項)

- 一の授業科目について、講義、演習、実験、実習又は実技のうち二以上の方法の併用により行う場合については、主たる方法について○を付し、その他の方法について△を付すこと。
- 企業等との連携については、実施要項の3(3)の要件に該当する授業科目について○を付すこと。